

調査結果のまとめ

この章では子ども活動を展開している青少年団体、ジュニアリーダーズクラブ等について、市区町村の青少年主管課や青少年関係団体に調査依頼し、回答をいただいたものをまとめたものを掲載しています。

横浜・川崎地区	P.67 ~ 80
横須賀三浦地区	P.81 ~ 84
湘南地区	P.85 ~ 94
県央地区	P.95 ~ 101
西湘地区	P.102 ~ 104
足柄上地区	P.105 ~ 106
津久井地区	P.106
民間団体	P.107
青少年が主体的に活動している団体一覧表	P.108 ~ 109

調査結果のまとめ

この章では、平成 17 年 7 月末に、各市区町村青少年主管課(63)及び青少年関係機関・団体(44)に対して、「平成17年度神奈川県青少年指導者養成協議会専門部会に係る調査青少年団体、ジュニアリーダー等について」という調査依頼をして、45 団体から御回答をいただいたものについて 67 ページ以降(これ以外の 3 団体については、 に掲載させていただきました)にまとめました。1 ページに 1 団体または 2 団体(ページ数の関係で同じページに 2 団体を掲載させていただいたところがあります)のデータを掲載しました。それを一覧表の形にまとめたものを、「青少年が主体的に活動してる団体一覧表」(P.108)に掲載しています。

各団体で御回答いただいた項目すべてではなく、公表しても差し支えないものについて掲載しました。余白の部分には資料をいただいている団体について、年間行事、自主研修の内容、チラシ、キャンプのしおりのカット・イラスト等を可能な範囲で掲載させていただきました。

いくつかの項目について、傾向として出てきているものについて以下に述べます。自主活動の内容で多かったのは、「自主研修」「キャンプ」「親睦のためのクリスマス会等」「市民祭等への参加」です。その他には「イベント」「新聞発行」「ボランティア活動」等を実施している団体があります。定例会はほとんどの団体が実施していて、会員同士で話し合いながら活動を進めていることがうかがえます。

活動上の課題では、最も多かったのは「人材・後継者不足」で 18 団体があげています。その理由として、「加入者の不足」「会員の中高生が部活動・受験で忙しい」などがあがっています。また「中心メンバーの育成」「女子に比べて男子が少ない」「社会人になると忙しくて参加できなくなる」「ジュニアリーダー卒業後の活動の場がない」などをあげている団体もあります。

協力事業については、相手先に「子ども会連絡協議会・地区子ども会・単位子ども会・育成会等」と回答しているのが 26 団体と圧倒的に多くなっています。次が「市町主催事業」で 10 団体ありました。あとは「青少年指導員連絡協議会」「老人会」等がありました。この子ども会への協力事業というのは、子ども会からの依頼があって、行事のお手伝いをするというものです。団体によっては、この活動が時期によって非常に多く、人手不足になる団体も多いようです。夏のキャンプ、クリスマス会、新入生歓迎会を実施する時期が忙しいようです。協力の内容を見ますと、「レクリエーションゲーム」を最も多いと答えた団体が 26 団体、2 番目に多い内容では、「イベントのスタッフ」が 15 団体、「キャンプ(キャンドル)ファイヤー」が 12 団体となっています。これらの活動への参加回数の上位 5 団体は、以下の表になります。

協力事業への参加回数の上位5団体

順位	1	2	3	4	5
回数(回)	84	67	50~60	47	47
延人数(人)	240	257	300	148	100
平均参加人数(人)	2.9	3.8	5	5.5	2.1
会員数(人)	71	85	41	71	39
実働人数(人)	50	30	20	55	12
延人数/実働人数(人)	4.8	8.6	15.0	2.7	8.3

3 番目の団体は、回数を 60 回として、平均を出した。

この表以外の団体では、平均参加人数が、25 人が 1 団体(2 回)、20 人が 2 団体(1 回、3 ~ 5 回)。8.3 人が 1 団体(3 回)というところもありますが、回数が少ない団体です。回数が 12 回で平均 8.8 人という団体もあります。

回数・人数を回答した 25 団体(回数だけで、延人数の回答がない 4 団体は除いた)の総回数は 571 回、総延人数は 2,575 人で、1 回に平均 4.5 人が参加していることになります。

これらの結果から言えることは、各団体が非常に活発で忙しい活動を展開しているということです。このことから人材不足、後継者不足という課題が浮かび上がってきます。

参加動機は、「キャンプなどでリーダーに接して、楽しかった・おもしろい・かっこいいと思ったから」「リーダーへの憧れ」「ボランティアに興味があった」の3つが多く、それぞれ 10 団体以上があげています。「参加したイベント・研修会が楽しかった」「子どもが好き・関わりたい」「キャンプがしたい」等もありました。この参加動機を考えると、もっと多くの機会を通じて参加を呼びかければ、団体への加入の可能性があると思われます。しかし忙しい中で、会員募集の行事を組み立てていくのもなかなか難しいのではないかと思います。ジレンマになっているように見えます。

自主活動と協力事業の比率が、アンバランスになっている団体が多く、本当にやってみたい活動というものを実現できず、あるいは見いだせないままに忙しい活動を継続していて、それが原因で実働人数を逆に減らしてしまい、さらに忙しい会員が多くなっているのではないのでしょうか。

魅力のある活動を展開することで会員のモチベーション(やる気)を維持しつつ、その活動にたくさん子どもたちに参加してもらって、彼らに入会してもらうことで会員増につなげてほしいと思います。

67ページからの表の見方 団体名

問い合わせ先	事務局が青少年主管課の場合、その電話番号を掲載した。事務局が個人宅の場合は掲載していない。		
活動エリア	活動している地域	活動拠点	定例会等を実施する場所
自主活動	団体独自の活動		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している(いない)		研修を指導している人
中上級者向け	実施している(いない)		研修を指導している人
活動上の課題	活動している上での問題点や悩み		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	内 容	-
イベント(委託)	協力事業でイベント形式のもの		
協力事業	相手先	協力事業の相手先団体等	
	内 容		
	回 数	延人数	
アピールポイント	団体のいい点やうりとなる点		
会発足のきっかけ	団体を創設することになった理由・きっかけ		
会員募集方法			
参加動機	団体に入会・参加のきっかけや動機		
会員情報等	年齢層	会員の年齢層と其中最も多い年齢層	年会費
	会員数	実働人数	会則
指導者	会員を指導している立場の人		

鶴見区ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	鶴見区ジュニアリーダーズクラブホームページ http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=tsurumijlc				
活動エリア	鶴見区全域	活動拠点	鶴見ふれあいセンター		
自主活動	<ul style="list-style-type: none"> ・班長研修会(サマーキャンプ参加者を対象に、クラブへの興味をより深くもってもらい、クラブの活動を知ってもらうことを目的として、毎年秋ごろに行っている。) ・花月園キャンプ(地域の子どもたちが参加。メンバーが企画) ・他区・他都市ジュニアリーダーズクラブとの交流会。 ・会員相互の親睦を目的としたクリスマス会や新年会、食事会など。 				
自主研修	内 容		講師(指導者)		
初心者向け	実施している	リーダー養成講座(区役所):中高生向け。レクや野外活動、野外炊事の基本を学ぶ。 定例会(JLC):月1回、地区センター等でレク・ファイヤーゲームの講習を行っている。	会員OB・OG、横浜市レクリエーション協会会員		
中上級者向け	実施している	総括研修会:毎年度末、会員のみ対象の宿泊研修。	会員OB・OG		
活動上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人材が少ない。特に近年は男子が少なくなっている。 ・認知度が低い。その克服は会の目標でもある。 				
連携(協働事業)	連携(協働)相手	なし	内容	-	
イベント(委託)	区内小学4~6年生対象の鶴見区子どもサマーキャンプの企画・運営				
協力事業	相手先	鶴見区子ども育成会連絡協議会・地区の子ども会			
	内 容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ、子どもと若者のひろば(たまり場・フリースペース)開設モデル事業、区民フェスティバルへの出店(フリマ)など			
	回 数	年間15回程度 (さらにひろば開設モデル事業が月2回)	延人数	約150人	
アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・元気がよくて、クラブの雰囲気がとても明るいところ。 ・挨拶や返事、敬語などの礼儀をしっかり意識しているところ。 				
会発足のきっかけ	各単位子ども会の発展を図るため、区内の子ども会の活動の奉仕、及び子どもに対する指導・助言することを目的とし、そのために子ども会のリーダーを育成し、リーダー間の相互の研修、ならびに親睦交流を深めることを趣旨として、鶴見区子ども育成会連絡協議会の傘下団体という位置づけで発足。				
会員募集方法	「鶴見区子どもサマーキャンプ」に参加の小学5、6年生に入会を呼びかけている。その他、イベント等を通してメンバーから小学校高学年や中高生に直接紹介したり、携帯のサイト等で呼びかけたりしている。				
参加動機	サマーキャンプで、リーダーに憧れたり活動内容に興味を持ったりしたのがきっかけ、というメンバーが多い。				
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 18歳	中高生	年会費	中学生 1000円 高校生 1500円
	会員数	34人	実働人数	20人	会則
指導者	会員OB・OG、子ども会役員				

西区子ども会育成連絡協議会ジュニアリーダースクラブ

問い合わせ先	西区役所地域振興課内	045-320-8392	hi00-izumiya@city.yokohama.jp		
活動エリア	西区内を中心とした横浜市内	活動拠点	ふりーふらっと野毛山(横浜市青少年交流センター)		
自主活動	西区子ども大会、区民まつり、健民祭などでゲーム、レクリエーション指導に参与している。				
自主研修	内 容		講師(指導者)		
初心者向け	実施している	仲間づくりやJLの役割の話し合いと交流会(2泊3日)	会の先輩・OB・OG、子ども会役員		
中上級者向け	実施している	室内レクリエーションなど実技の実施	会の先輩・OB・OG、子ども会役員		
活動上の課題	社会人になると時間的に余裕がなくなり、活動時間確保に苦難。				
連携(協働事業)	実施していない				
イベント(委託)	小学校5,6年対象のキャンプの企画、運営、実施など				
協力事業	派遣先	西区の単位子ども会/地区センター			
	派遣内容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ、キャンプのスタッフ、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、地区センターまつりの協力、紙芝居大会のスタッフ協力など			
	派遣回数	12回	延人数 30人		
アピールポイント	単位子ども会や地域活動にボランティア派遣協力している。ゲームの指導などが好評。				
会発足のきっかけ	昭和43年、子ども会活動の上で、青年の参加の必要性が求められ、研修合宿をして発足				
会員募集方法	子ども会の回覧等を通し、募集チラシで呼びかけ				
参加動機	・キャンプで指導してくれたリーダーに憧れて ・子ども会に派遣されたJLに触れ、自分も目指す。				
会員情報等	年齢層	13歳 ~ 40歳	中高生中心	年会費	1,200円
	会員数	60人	実働人数	40人	会則
指導者	会員OB・OG、担当職員				

平成16年度 行事報告

日 時	行事名	内 容	参加人数
4月25日	定期総会	行事報告・決算報告・行事計画等	29人
5月22日	風流大会	クラフト、流しそうめん	38人
6月20日	学年別研修会・班長研修会	ジュニア学年別研修会、紙飛行機づくり	24人
7月20日	CAMP事前研修会	野外炊事の練習	31人
7月28日	CAMP事前研修会	名札づくり、役割・献立決め	26人
7月30日~8月2日	CAMP	野外炊事、キャンプファイヤー	48人
8月22日	CAMP事後研修会	CAMP反省会	28人
9月25日	ハイキング	ウォークラリー、運動会	25人
10月10日	健民祭	運動会手伝い	25人
10月23日	中2主催研修会	ウォークラリー、野外レク	17人
11月7日	区民祭	懐かしいおもちゃ、紙芝居、フリーマーケット	14人
11月13日~14日	SL主催宿泊研修会	学年別研修会、全体研修会	27人
12月25日~26日	クリスマス研修会	親睦レク、キャンドルファイヤー、ポイントラリー	40人
1月29日	スポーツ大会	お正月の遊び、ドッジボール	12人
2月27日	遊友遊楽	クッキーづくり、親睦レク	21人
3月19日~20日	新人研修会	親睦レク、キャンドルファイヤー、海賊ラリー	73人

保土ヶ谷区ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	保土ヶ谷区役所地域振興課 045-334 - 6307 -		
活動エリア	主として保土ヶ谷区内	活動拠点	地区センター他
自主活動	自主研修(キャンプ他)・お楽しみ会・定例会(毎月)・区子連行事への派遣 等		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	宿泊研修を通じてJLとは何かを学習させる。	先輩会員、会員OB・OG
中上級者向け	実施している	単位リーダーズクラブの養成を大勢で学ぶ。	先輩会員、会員OB・OG
活動上の課題	クラブへの参加を増やすこと。加えて良きリーダーを育てること。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	区役所地域振興課	内容 がやっこ育成事業等
イベント(委託)	小学生対象のキャンプ・体験学習・研修会等の企画・運営・実施		
協力事業	相手先	区内の単位子ども会及び区子ども会行事	
	内 容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ	
	回 数	単位会10 回・区子連 行事10回	単位会50 人・区子連 150人
アピールポイント	子ども達の良きお兄さん、お姉さんとしてのグループです！		
会発足のきっかけ	区子ども会育成連絡協議会の傘下ではあるが、自主的に活動することを目的に組織を立ち上げた。		
会員募集方法	・小学校5・6年生のJL養成研修会で呼びかける。 ・区子ども会育成連絡協議会の会長会議で全子ども会に回覧。		
参加動機	・リーダーに憧れて ・皆で集まって過ごすのが楽しい。		
会員情報等	年齢層	12 歳 ~ 24 歳	中学生中心 年会費 1200
	会員数	40人	実働人数 40人 会則 あり
指導者	会員OB・OG、区子連(区子ども会育成連絡協議会専門委員会も含む)		

第2回子ども体験学習

趣 旨	・野外炊事の楽しさを感じ、技術や知識を身につける。 ・火や包丁などの危険を理解し、常に安全な行動を心がけることを身につける。 ・宿泊での活動を通して、仲間との協調性や、リーダーシップ、積極性を育てる。
主 催	保土ヶ谷区子ども会連絡協議会
企画・運営	保土ヶ谷区ジュニアリーダーズクラブ
日 程	2005年10月1～2日(1泊2日)
会 場	横浜市三ツ沢公園野外活動センター
対 象	小学校4～6年生
内 容	野外炊事体験、レクリエーション他

旭区ジュニア・リーダーズ・クラブ

問い合わせ先	旭区地域振興課 生涯学習支援係	045-954-6095	yu00-segawa@city.yokohama.jp
活動エリア	旭区全域	活動拠点	旭区内の公共施設(地区センター、福祉保健活動拠点など)
自主活動	旭区子ども会育成連絡協議会と共に、5～6年生対象の班長研修会、6年生対象の新人養成研修会及び子ども会活動の発表の場である旭区新年子ども大会を企画、実施している。その他に会員対象のレクリエーション行事、会に興味のある区内の中学生も対象とした活動体験や親睦交流を目的とする行事など。		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	日帰り2回、1泊2日4回、2泊3日1回。ジュニアリーダーとして必要な知識や技術の習得を目的に、キャンプやレクリエーション指導等の研修。	先輩会員
中上級者向け	実施している	高校生対象の研修会、シニア(高校卒業以上)対象の研修会を必要に応じて、各2～3回程度実施。スタッフや指導者として必要な知識・技術の向上を目的とする。	先輩会員
活動上の課題	中学生会員の活動への参加率が低下している。また、会員数も遞減傾向にある。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	旭区子ども会 育成連絡協議会	内容 子ども(小学生)対象の事業実施の際、区子連が参加者募集、資金拠出、連絡調整等を行い、ジュニアリーダーが企画・運営、子どもの指導を行っている。
イベント(委託)	特になし		
協力事業	相手先	旭区内の子ども会	
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ	
	回 数	12回	延人数 60人
アピールポイント	会長をはじめとする役員は原則として高校生が担当することにしており、高校生が主体となって企画・運営をしている。また、それをサポートする高校卒業以上の会員層が充実している。		
会発足のきっかけ	保土ヶ谷区から分区して旭区が誕生した際に、保土ヶ谷区ジュニア・リーダーズ・クラブから独立して発足した。		
会員募集方法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学5～6年生対象の班長研修会(9月)の参加者に呼びかける。 ・小学6年生(新中学1年生)対象の新人養成研修会開催(2月)。 ・その他、区内の子ども会への呼びかけ、子ども会行事でのPR。 		
参加動機	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩リーダーにあこがれて。 ・子ども会行事でリーダーと一緒に遊んで、楽しかったから。 ・班長研修会や新人養成研修会が楽しかったから。 		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 45歳	社会人、中高生が多い
	年会費	1,200円	
	会員数	61人	実働人数 55人
	会則	あり	
指導者	高校卒業以上で後輩の指導・育成活動に参加の意志のある会員をシニアと称し、後輩の指導・育成に当たっている。		

磯子区ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	三上 清香	045-750-2393 (磯子区地域振興課)	-
活動エリア	磯子区	活動拠点	磯子
自主活動	-		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	7月研修(1泊)や会議の際にリーダーがどうあるべきかという研修をします。	シニアリーダー
中上級者向け	実施している	シニアリーダーになると洋上セミナーや金子連主催の都市大会、各小学校のボランティア等、個人的に勉強、経験をしています。	-
活動上の課題	まだまだクラブとして、成長の途中ではありますが、楽しく明るく活動するだけでなく、けじめのあるクラブになるように日々努めています。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	なし	内容
イベント(委託)	祭、フェスティバル、子どもまつり、健民祭、磯子まつり、洋光台ウォークラリー等		
協力事業	相手先	地域子ども会の手伝い	
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ	
	回 数	20回 平成16年度	延人数 40人程度
アピールポイント	人数が多いですが、みんな1つになって活動しています。年齢差がありますが、仲良く話ができる仲です。		
会発足のきっかけ	地域活動を通じて、リーダー同士の親睦と青少年育成として自主性、創造性、社会性を学びリーダーシップを習得し、地元子ども会に協力すること		
会員募集方法	サマーキャンプ等、行事に参加した小学生への呼びかけ		
参加動機	あこがれやボランティアへの興味		
会員情報等	年齢層	13歳 ~ 36歳	中高生中心
	会員数	50人	実働人数 46人
指導者	シニアリーダー		

平成16年度 活動報告

2004年4月	定期総会
5月	新入生歓迎会
7月	7月研
8月	赤城サマーキャンプ(2泊3日)、洋光台四街区祭、洋光台五街区祭、洋光台サイエンスフェスティバル、サマキャンお疲れ様会
9月	いそごどもまつり、サマキャン写真会
10月	YJ球技大会、洋光台健民祭、ボラ協祭、磯子まつり、
11月	洋光台ウォークラリー、洋光台サンモール祭
12月	クリスマス会(洋光台一丁目、洋光台四丁目、洋光台一街区、洋光台四街区、杉の子、杉田西部、ログハウス)
2005年1月	1月研。くらき子ども会新年会
3月	卒業生を送る会(浜西、レインボー、室の木)、野島春キャンプ(1泊2日)

港北区ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	港北区地域振興課 生涯学習支援係	045-540-2239	ha02-yoshida@city.yokohama.jp
活動エリア	港北区全域	活動拠点	港北区役所
自主活動	アウトドア活動教室、冬季宿泊研修会、春季宿泊研修会		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	レクリエーションゲーム、野外炊事研修、グループワークトレーニング	先輩会員、担当職員
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	スタッフが女性の割合がふえて男性が少なくなっている。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	なし	内容
イベント(委託)	区子供会宿泊研修、区民まつり		
協力事業	相手先	港北区内の子ども会等	
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ	
	回 数	45回 平成16年度	延人数 約200人
アピールポイント	参加をしてくれている子ども達のよきお兄さん、お姉さんの活動をしています。		
会発足のきっかけ	子ども会の年少指導者を育成するために結成された。		
会員募集方法	冬・春に小学生を対象にした研修会の時に募集する。		
参加動機	子ども会、地域のイベントのお手伝いなどしたときに参加していた。		
会員情報等	年齢層	13歳 ~ 28歳	中高生中心 年会費 18歳未満(中学生・高校生)2,500円、18歳以上3,000円
	会員数	60人	実働人数 30人 会則 あり
指導者	会員OB・OG、担当職員		

アウトドア活動教室


趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・自立心、協調性の育成。 ・高校生にとっては、リーダーシップの育成になり、中学生にとっては、団体活動を学ぶ場となっている。 ・中高生、専門学校生、大学生の交流にもなっている。
主 催	港北区ジュニアリーダーズクラブ
企画・運営	港北区ジュニアリーダーズクラブ
日 程	2005年8月18~21日(3泊4日)
会 場	赤城林間学園キャンプ場
対 象	中高生
内 容	キャンプ、野外ゲーム等

自主研修として、春季宿泊研修会(1泊2日)、冬季宿泊研修会(1泊2日)等を実施している。




緑シニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	緑シニアリーダーズクラブ	045-932-3130	-
活動エリア	緑区内	活動拠点	横浜市くろがね 青少年野外活動センター
自主活動	地域のイベントへ手伝いとして参加したり、自主的に星空キャンプを開催している。		
自主研修	内容		講師（指導者）
初心者向け	実施している	野外活動上の安全管理の行い方、キャンプの企画運営	クラブ員
中上級者向け	実施している	野外活動の安全管理をどう向上させていくか	クラブ員
活動上の課題	新規メンバーの加入、中心メンバーの育成		
連携（協働事業）	連携（協働）相手	-	内容
イベント（委託）	緑区民祭り・横浜市中心地区センター祭り、その他多数		
協力事業	相手先	なし	
	内容	-	
	回数	-	延人数
		-	-
アピールポイント	若年層が中心になりキャンプの企画、運営をおこなうところ		
会発足のきっかけ	13年前に区からの呼びかけで発足		
会員募集方法	-		
参加動機	-		
会員情報等	年齢層	15歳～28歳	中高生が多い
	年会費	中高生月額200円・高校卒以上月額500円	
	会員数	30人	実働人数
		20人	会則
			あり
指導者	会員OB・OG		



星空キャンプ




野外炊事・レクリエーションなど楽しいことをいろいろするよ★
星空キャンプを通して友達の輪をひろげて、仲良くなろう★

1. 日にち 9月24日(土)～25日(日)
宿泊施設に泊まります
2. 対象 小学校4～6年生
3. 定員 40人(応募多数の場合抽選となります)
4. 場所 くろがね青少年野外活動センター(宿泊施設)
[田園都市線市が尾駅よりバス]
5. 参加費 2500円(保険料・交通費込み)
6. 申し込み 9月8日必着で下記の住所まではがきを送ってください。こちらから9月14日まで抽選結果をお送りしますが、届かない場合は下記の連絡先までお電話ください★★キャンプの詳細内容は当選通知とともにしおりを送ります。

★申し込み&連絡先★
はがきに「星空キャンプ参加希望」と明記し、
参加者氏名(フリガナ)・ニックネーム・学年・年齢・性別・保護者氏名・住所・電話番号をご記入のうえ、
〒226-0013 横浜市緑区寺山町118
『緑区役所地域振興課生涯学習支援係星空キャンプ担当』
まで送付してください。
(TEL.045-930-2235 FAX.045-930-2242)

★10代から20代のスタッフが企画運営をしています。
★子どもたちが色々な体験を楽しみながら友達をの輪を広げていくことを目標としています。

★★★★★★★★★★★★★★



主催：
緑シニアリーダーズクラブ

あおばレクリエーションリーダー倶楽部

問い合わせ先	青葉区役所地域振興課	045-978-2295	ma00-inayoshi@city.yokohama.jp		
活動エリア	青葉区内	活動拠点	区内地区センター		
自主活動	・青葉サマーキャンプ(子ども向けのキャンプの企画・運営:下見、事前説明会、当日進行、事後講習、思い出会) ・同窓会(今年度は、こどもの国で班に分かれてのこどもの国散策、原っぱ遊び) ・ミーティング(活動の計画、実行するための会議で、月2回程度)				
自主研修	内容		講師(指導者)		
初心者向け	実施予定	ジュニアリーダーについて	ジュニアリーダー		
中上級者向け	実施予定	登山、危機管理、キャンプについての座学講習	ジュニアリーダー、OB		
活動上の課題	組織の拡大、メンバーの人材育成を体制化すること				
連携(協働事業)	連携(協働)相手	-	内容 -		
イベント(委託)	なし				
協力事業	相手先	なし			
	内容	-			
	回数	-	延人数 -		
アピールポイント	参加費がかからないこと。 年齢幅に左右されず、それぞれのメンバーが個性的であること。 小学生へのキャンプ開催により、平日頃得られない経験がたくさんできること。				
会発足のきっかけ	年下の異年齢の子どもたちや地域の大人たちとの関わり場が少ない青年層に対し、キャンプの企画運営など、大人や子どもたちとともに事業を達成することで得られる様々な体験の機会を提供する。(区自主事業)				
会員募集方法	区版広報誌、インターネット、過去キャンプ参加者へのDM、高校・大学への掲示				
参加動機	ジュニアリーダーに対する憧れ				
会員情報等	年齢層	16歳 ~ 29歳	大学生が多い	年会費	無料
	会員数	16人	実働人数	10人	会則
指導者	担当職員				

平成16年度あおばレクリエーションリーダー倶楽部事業

日程	活動内容	場所	内容
2004年5月12～13日	青葉サマーキャンプ ・キャンプ地下見	国立信州高遠 少年自然の家	現地下見とキャンプに向けた研修
8月1日	青葉サマーキャンプ ・事前説明会	青葉公会堂	サマーキャンプに向けた保護者と子供への説明会
8月21～24日	青葉サマーキャンプ	国立信州高遠 少年自然の家	野外炊飯、クラフト作り、プラネタリウム見学、千代田湖ハイキング、しおり作り、キャンプファイアー
9月26日	青葉サマーキャンプ ・事後講習、思い出会	青葉公会堂	キャンプに行った仲間が集い、思い出を呼び起こし共有する。
1月5日	同窓会	こどもの国	班に分かれてのこどもの国散策 原っぱ遊び
3月30～31日	春キャンプ	横浜少年自然の家	過去サマーキャンプ経験者を中心とした中学生キャンプ
月2回程度	ミーティング	主に地区センター、ボランティアセンター等	通年における、上記の活動の計画、実行するための会議

栄区ジュニアリーダースクラブ

問い合わせ先	栄区地域振興課	045-894-8395	sjlc@hotmail.co.jp			
活動エリア	栄区全域	活動拠点	本郷地区センター			
自主活動	バーベキュー大会、江ノ島・鎌倉散策 (例)「夏だ！遊ぼう！バーベキュー！」区内の小中学生60人を対象に野外での調理を体験します。また、レクリエーションを通して子ども同士交流を図ります。					
自主研修		内 容	講師（指導者）			
初心者向け	実施していない	-	-			
中上級者向け	実施していない	-	-			
活動上の課題	メンバーの人数が少ないことから、今後どうしていくか話し合う必要がある。最近、部活や塾で忙しい中高生が増えてきたのか、なかなか中高生のメンバーが入らない。					
連携（協働事業）	栄区子ども会連絡協議会 その他、現在、栄区地域振興課と調整中です。	内容	栄区子ども会事業との連携。 栄区児童文化ワークショップ事業でのワークショップ企画・運営の協力（調整中）			
イベント（委託）	夏休みのキャンプの手伝い、クリスマス会、新入生を迎える会、卒業生を送る会などの司会・進行およびレクリエーションを行う					
協力事業	相手先	栄区各地区の単位子ども会および区子連				
	内 容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ				
	回 数	20回	延人数	70人		
アピールポイント	おそらく、他のジュニアリーダースクラブよりはメンバー数が少なく、大学生のメンバーが多いため年齢層が高い。しかし、その分、メンバー同士の仲が良く、子ども会の方からすると安心して依頼が出来るのではないかと自負しています。					
会発足のきっかけ	戸塚区から栄区が分かれたときに戸塚区ジュニアリーダースクラブのメンバーが発足。一度は解散したものの、再度活動したいメンバーが集まって発足させた。					
会員募集方法	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会行事に参加し、その場でチラシの配布 自主企画事業において呼びかける。 過去の参加者(小学校高学年～中学生)向けに行事を企画し呼びかける。 					
参加動機	<ul style="list-style-type: none"> リーダーの人がおもしろい人だった。 リーダーの人のようになりたかったから。 参加者として参加してすごく楽しかったから。 					
会員情報等	年齢層	14歳～21歳	高校生、大学生中心	年会費	1,000円	
	会員数	9人	実働人数	9人	会則	あり
指導者	栄区子ども会会長、担当職員					



泉区ジュニアリーダースクラブ

問い合わせ先	泉区地域振興課	045-800-2395	-
活動エリア	主に横浜市内全域	活動拠点	横浜市内全域
自主活動	<p>・養成研修会～泉区内の小学校5年生以上を対象に、ジュニアリーダーとして必要な基本事項を学ぶための研修会を毎年10月～3月に開催している。(新たなジュニアリーダーの候補者を養成)</p> <p>・こども探検隊～泉区の小学生4年生以上を対象に、道志村や赤城山などの施設を利用して、テント建てや山登り、ウォークラリーなどのプログラムを中心としたキャンプを毎年8月に開催している。(養成研修会へ参加してもらうためのきっかけづくり)</p>		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	毎月の定例会の中で、一泊研修会や野外炊事等を行いスキルアップをはかっている。	先輩会員
中上級者向け	実施している	毎月のスタッフ会議の中で、後輩会員を指導するための研修を行いスキルアップをはかっている。	先輩会員
活動上の課題	後継者不足。最近では、募集をしても会員が集まらなくなってきた。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	青少年の居場所づくり事業の各実行委員会(青少年指導員、体育指導委員、主任児童委員など)	内容 実行委員会は、会場提供、参加者募集を行い、クラブは人員提供、企画・運営をする。
イベント(委託)	なし		
協力事業	相手先	子ども会や区役所などが行う小学生等を対象とした行事	
	内 容	レクリエーションゲーム等のイベントの企画・運営、イベントスタッフとしての手伝い	
	回 数	-	延人数 -
アピールポイント	行政が事務局機能を持つことなく、自ら企画運営を行っている。		
会発足のきっかけ	昭和63年、泉区が戸塚区から分区したことに伴い、戸塚区リーダースクラブから分離新設。		
会員募集方法	小学校5年生以上対象のジュニアリーダー養成研修会(区内小中学校の対象者全員にチラシを配付)の受講者に呼びかける。		
参加動機	子どもたちと楽しく触れ合うことが好きである。ボランティアに興味がある。		
会員情報等	年齢層	中学1年 ~ 30歳未満	高校生以上が多い
	会員数	19人	実働人数 19人
	年会費	4,200円	会則
			あり
指導者	先輩会員		



キャンプの様子

瀬谷区ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	瀬谷区地域振興課	045-367-5696	-
活動エリア	瀬谷区全域	活動拠点	-
自主活動	定例会、研修会、アドベンチャーキャンプなど		
自主研修	内 容		講師（指導者）
初心者向け	実施している	レク研修、炊事・野外活動、定例会 など	会員OB・OG
中上級者向け	実施している	同上	会員OB・OG
活動上の課題	後継者不足。		
連携（協働事業）	連携（協働）相手	特になし	内容 -
イベント（委託）	瀬谷区子どもまつり、アドベンチャーキャンプ、映画会、子供会でのクリスマス会、お楽しみ会 など		
協力事業	相手先	瀬谷区子供会育成連絡協議会、及び単位子供会	
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ	
	回 数	10～20回	延人数 -
アピールポイント	子どもたちと年齢も近く、明るく楽しく接することができる。また、各行事等においても自主性を発揮し企画している。		
会発足のきっかけ	子供会など運営していくうえで、中・高生たちのほうが大人よりも子どもとのコミュニケーションがうまくとれる、また自らの成長が図られることから。		
会員募集方法	夏のアドベンチャーキャンプ等の行事を機会に参加者に呼びかける。		
参加動機	・キャンプ等の行事が楽しかった。 ・ジュニアリーダーズクラブの役員が楽しかった。 など		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 25歳	中高生中心
	会員数	25人	実働人数 25人
			年会費 1,200円
			会則 あり
指導者	会員OB・OG、子ども会役員		

川崎市子ども会連盟 ジュニアリーダースクラブ・(7行政区にジュニアリーダースクラブを設置)

問い合わせ先	川崎市子ども会連盟	044-733-3951	-
活動エリア	川崎市全域及び年2～3回全国子ども会の研修参加 活動拠点 市内こども文化センター		
自主活動	各区民祭などでゲームコーナーなどを担当		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	ステップアップ研修	シニアリーダー
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	・部活動、受験等で参加がしにくいこと。 ・ジュニアリーダー卒業後、18～25歳のシニアリーダースクラブへの入会する者が少ないこと。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	なし	内容 -
イベント(委託)	小学4～6年生対象の各区子どもリーダー研修会の宿泊研修でキャンプ(キャンドル)ファイヤー・ゲームを担当		
協力事業	相手先	川崎市内単位子ども会、市内こども文化センターなど	
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ、キャンプのスタッフ、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、こども文化センターの行事の手伝い、小学校バザーの手伝い	
	回 数	約200回(各区30回程 延人数 度×7区)	-
アピールポイント	会員が自主的に計画し、参加し、リーダーである意識を自己の中で根付かせていくこと。		
会発足のきっかけ	子どもリーダー研修会修了後、良き先輩として活動する居場所を提供し、会員個人のリーダーシップの意識を高めようと声をかけた。		
会員募集方法	・小学4～6年生対象の子どもリーダー研修会修了者に呼びかける。 ・会員の友達へ口づてで伝える。		
参加動機	・子ども会の良きおにいさんおねえさん役になり、行事等をサポートすることが好きだから ・地域以外の交流ができるから。		
会員情報等	年齢層	中学生～高校生	中高生
	年会費	0円～2,000円(行政区により異なる)	
指導者	会員数	98人	実働人数 98人
	会則	あり	
指導者	会員OB・OG、その他		

平成16年度活動報告(宮前区の例)

2004年4月	宮崎さくら祭参加(4日)、宮前区子ども会連合会総会出席(25日)
5月	平成16年度準備会(8日)
6月	多摩川美化活動参加(6日)、平成16年度開講式(6日)
7月	市子連JL研修参加(10～11日)、自己研修<新会員歓迎会>(18日)、川崎市JL連絡会参加(24日)、全国子ども会中央大会参加(27～31日)、関東ブロックJL神奈川大会参加(29～31日)
8月	区内シニアeverlastingによる研修(3日)、川崎市野球大会サポート(7,8日)、第36指定都市JL横浜大会参加(9～12日)、子どもリーダー研修会宿泊研修参加(16～18日)
9月	宮前ふれあいフェスタ参加(12日)
10月	宮前区民祭参加(17日)、宮前区ミニ子ども会議参加(23～24日)
2005年2月	市子連JL研修参加(11～12日)、アクティブキッズワールド参加(19日)
3月	中高生リーダー研修参加(20～21日)、青少年フェスティバル前日準備・当日ボランティア(26,27日)、自己研修及び平成16年度閉講式(29～30日)

定例会(毎月第2土曜日14:00～15:00)

JL連絡会(第3土曜日18:00～20:00)

中高生リーダー(7月～3月の研修まで10回)

川崎市子ども会連盟 シニアリーダーズクラブ むげん

問い合わせ先	川崎市子ども会連盟事務局	044-733-3951	-
活動エリア	川崎市全域	活動拠点	川崎市子ども会連盟事務局
自主活動	・川崎市子ども会連盟のジュニアリーダーに対する研修を開催し、ジュニアリーダーの養成を行う。(年3回、ジュニアリーダー宿泊研修会を実施) ・その他子ども会連盟主催行事の運営等		
自主研修		内 容	講師(指導者)
初心者向け	実施していない	-	-
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	新規会員の育成		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	川崎市青少年育成推進委員会	川崎市・川崎市青少年育成推進委員会主催の青少年フェスティバル等の事業に対して、実行委員として会員を派遣し、事業連携を行っている。
イベント(委託)	なし		
協力事業	相手先	市主催行事等	
	内 容	市主催の青年対象行事の企画立案(実行委員として派遣)	
	回 数	2回	延人数 -
アピールポイント	・青年層(18歳~25歳)が、ジュニアリーダー(中学生・高校生年齢)の養成を行うことにより、ジュニアリーダーのニーズに合う研修を実施している。		
会発足のきっかけ	不明		
会員募集方法	・シニアリーダーズクラブ主催の研修会にて案内 ・各子ども会を通じて募集		
参加動機	・子どもが好き ・楽しい、友達(仲間)が増える。		
会員情報等	年齢層	18歳 ~ 25歳	大学生中心
	年会費	1,500円	
	会員数	14人	実働人数 10人
	会則	あり	
指導者	-		

平成17年度活動計画

2005年5月29日	市子連総会
7月	第1回ジュニアリーダー宿泊研修会
10月	第2回ジュニアリーダー宿泊研修会
2006年1月	成人を祝うつどい
2月	第3回ジュニアリーダー宿泊研修会
3月25~26日	青少年フェスティバル
4月	平成17年度むげん総会

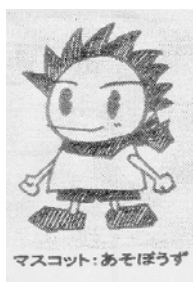
川崎市青少年の家 ユースワーカーズ倶楽部

問い合わせ先	川崎市青少年の家	044-888-3588	-		
活動エリア	川崎市	活動拠点	川崎市青少年の家		
自主活動	定例会、主催事業、四季事業等(資料参照)				
自主研修	内 容		講師(指導者)		
初心者向け	実施していない	-	-		
中上級者向け	実施していない	-	-		
活動上の課題	社会人が多く、自分の仕事との兼ね合いが難しい。				
連携(協働事業)	連携(協働)相手	なし	内容 -		
イベント(委託)	青少年の家フェスタの企画、運営、実施				
協力事業	相手先	青少年の家、中学校自然教室指導員、市のイベントへの参加出店等			
	内 容	事業プログラムのサポート(生活全般、野外炊事、クラフト、プール等)、レクリエーションゲーム、イベントスタッフ、キャンプ(キャンドル)ファイヤー			
	回 数	28回	延人数 120人		
アピールポイント	明るさ、まとめ、自主企画事業の実施				
会発足のきっかけ	主催事業「青少年フェスタ」の実行委員会から発展				
会員募集方法	市内社会教育施設等にチラシ配布				
参加動機	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちとのふれあいが好きだから。 ・ボランティア活動に興味がある。 ・青少年の家の事業に参加して興味を持った。 				
会員情報等	年齢層	15歳 ~ 38歳	中高生	年会費	2000円 (別途保険料)
	会員数	33人	実働人数	20人	会則
指導者	担当職員				

川崎市青少年の家ユースワーカーズ倶楽部 第8期活動計画

毎月2回(第1火、第3水)	定例会	全24回
2005年9月17日(土)~18日(日)	主催事業	自主企画事業を実施(子ども対象)
秋 or 随時	研修会	
2005年10月16日(日)	宮前区民祭	出店・活動紹介
未定	部員・職員歓送迎会	
夏・秋・冬・春	親睦交流事業(四季事業)	部員同士の親睦・交流目的
随時	ペットボトルソーラー大改修	台風で崩壊したペットボトルソーラー 温水器改修
2006年3月12日(日)	青少年の家フェスタ(受託事業)	企画・運営・出店
2006年5月17日(水)	総会	

その他にサポート事業として、エコチャレンジクラブ(子ども仲間づくり事業)、青少年教育施設連携事業、ほのぼのスクール(通学合宿事業)、エコゼミナール(子ども環境学習事業)、さくら祭などを実施



横須賀市ジュニアリーダー養成講習会OB会

問い合わせ先	横須賀市こども育成部青少年課	046-822-8224	ya-ci@city.yokosuka.kanagawa.jp
活動エリア	横須賀市全域	活動拠点	横須賀市青少年会館を中心に役員会を開催している。また、会員同士の打合せは横須賀市市民活動サポートセンターを中心に実施している。
自主活動	会員の親睦を図る誕生会などの行事の開催(H16実施)		
自主研修	内容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	宿泊1回、講話・話し合い(平成16年度実施)	先輩会員
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	高校・大学受験生も会員になっており、常に活動できる人が限られているため、新入生歓迎会やクリスマス会の時期は人手が足りない状態である。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	わんぱくフェスティバル実行委員会	内容 実行委員会の一員として、実行委員会への出席・当日のイベント運営にあたった。
イベント(委託)	なし		
協力事業	相手先	市内全域の子ども会や子どもにかかわる団体	
	内容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、プール安全監視、子どもと一緒にプールで遊ぶ	
	回数	84回(H16)	延人数 240人(H16)
アピールポイント	とにかく子どもがすき!とにかく明るい!		
会発足のきっかけ	市内には一部の地域しかジュニアリーダーが存在しないため、市内全域をカバーするため養成講習会を修了したジュニアリーダー達が自主組織を発足。		
会員募集方法	ジュニアリーダー養成講習会修了後の講習生および前年度OB会登録者へ、年度ごとの登録更新の確認をOB会員が取りまとめている		
参加動機	先輩のジュニアリーダー達と一緒に活動したい。		
会員情報等	年齢層	14歳 ~ 22歳	中高生中心
	年会費	2,300円	
	会員数	71人	実働人数 50人
	会則	あり	
指導者	会の役員や先輩が指導		

横須賀市ジュニアリーダー講習会プログラム

日程	平成17年3月12日(土)~13日(日) 1泊2日
会場	県立三浦ふれあいの村
参加者	40人(スタッフのジュニアリーダー5人含む)、青少年課担当職員3人
趣旨	初心者向けの研修
内容	レクダンス創作、ゲーム(研修の合間に実施)、講話(スタッフが劇を行い、それを題材に悪かった点、改善点について話し合う)・・・スタッフが進行して、すべてのプログラムを進めている。

鎌倉市シニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	鎌倉市役所青少年課	0467-23-3000	なし
活動エリア	鎌倉市(キャンプ等を除く)	活動拠点	鎌倉市
自主活動	地域のイベントでの出店(平成17年度)		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	夏期キャンプでゲームやカンテラ作りの指導をするにあたっての事前研修	先輩会員、青少年指導員
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	-		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	-	内容
イベント(委託)	小学4~6年生対象の夏期キャンプでの班付指導、ゲーム指導。		
協力事業	相手先	鎌倉市の地区行事(子ども会、地区の青少年育成団体等)	
	内 容	レクリエーションゲーム	
	回 数	回数	延人数 数人
アピールポイント	-		
会発足のきっかけ	-		
会員募集方法	キャンプ等の行事参加者へのPR		
参加動機	ボランティアに興味がある・子どもと関わりあいたい など		
会員情報等	年齢層	13歳~29歳	中学生から社会人 年会費 500円
	会員数	19人	実働人数 5~8人 会則 あり
指導者	青少年指導員		

逗子市子ども会連絡協議会ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	会長 小沢正和	046-873-2976	-
活動エリア	逗子市全域、三浦	活動拠点	-
自主活動	・市民まつりにて模擬店の出店 ・リーダーとの合同宿泊研修会		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	ジュニアリーダー宿泊研修のプログラムにディベート研修を導入	先輩会員、青少年指導員、担当職員
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	後継者(会員)不足、加入者の減少		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	逗子市教育委員会	内容 ・姉妹都市との交流事業に参加協力(会員) ・行政主催の事業に参加を斡旋(会員が自主的に)
イベント(委託)	青少年指導員連絡協議会主催の中高生ディベート大会への出場		
協力事業	相手先	なし	
	内 容	-	
	回 数	-	延人数 -
アピールポイント	会員の明るさ、行事での一致団結力		
会発足のきっかけ	市子連創立35周年を記念して、ジュニアリーダー事業に着手した。		
会員募集方法	・市内小学校6年生(全員)にチラシを配布 ・単子子ども会役員へ募集案内を配布		
参加動機	-		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 17歳	中高生 年会費 なし
	会員数	24人	実働人数 24人 会則 なし
指導者	会員OB・OG		

みうら青年ボランティアビューロー

問い合わせ先	事務局長宅				
活動エリア	市内各地	活動拠点	毎週土曜日に市青少年会館にて会議を行っている。		
自主活動	(主催事業)美化財団と協力した海岸清掃、クリスマスイベント、Go!Go!フレンドリーパーク(こどもの日主催企画)				
自主研修	内容		講師(指導者)		
初心者向け	実施している	毎週土曜日に定期的に行なわれる会議の中で、自主的にゲーム講習を行っている。		先輩会員	
中上級者向け	実施している	保育園におけるインターンシップ、手話講習、福祉講習		会員自身が指導者の選定を行なう。間に青少年教育係が入ることもあるが、あくまで自主性に任せている。	
活動上の課題	あくまでも高校生たちが自主的に行っていることなので、社会教育課であげる点はない。				
連携(協働事業)	連携(協働)相手	三浦市教育委員会	内容	姉妹都市交流(須崎市)受入れ・派遣事業、青少年指導員を中心とした「うどん祭り」、先に紹介した「ユースボランティアフォーラム」を協働して企画・運営を行い、また事業の反省を行っている。	
イベント(委託)	-				
協力事業	相手先	三浦市の各地区の単位子ども会			
	内容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ			
	回数	青少年教育係では把握せず	延人数	青少年教育係では把握せず	
アピールポイント	高校生達を中心となって自主的に活動内容について決定をしている。				
会発足のきっかけ	神奈川県青少年会館担当により発足				
会員募集方法	毎年度末に行なわれる、教育委員会が主催を行なう中学卒業生を対象としてボランティアについて考える「ユースボランティアフォーラム」というイベントで運営補助を行い、参加者への呼びかけを行っている。				
参加動機	「ユースボランティアフォーラム」にて楽しそうにボランティアに取り組んでいるメンバーに憧れたから 等				
会員情報等	年齢層	15歳 ~ 22歳	高校生中心	年会費	なし
	会員数	29人	実働人数 23人	会則	あり
指導者	なし				

機関誌「ビューロー」の一部を掲載します。

最近の活動内容☆☆

7月30,31日 姉妹都市交流須坂 受け入れ	11月13日 ビューロースポーツ大会
7月,8月 たくさんの子ども 会カラオケの依 頼がありました。	12月 たくさんの子ども 会カラオケクリスマス会 の依頼がありました。
8月17~19日 姉妹都市交流須坂 訪問	12月19日 ビューロー主催クリスマス会
9月11日 海岸清掃	1月22日 ビューロー新年会
9月25日 定例総会	2月23,24,3月4日 ユースボランティア説明会
10月9日 教育委員会より依頼	3月12日 教育委員会より依頼
10月30日 教育委員会より依頼	3月17~19日 ユースボランティアフォーラム
のうどん祭り	3月26日 定例総会

2号の発行がとて遅れてしまつてごめんなさい!

お詫言ひたい。2号の発行がとて遅れてしまつてごめんなさい! 理由は、編集作業が思ったより大変だったこと、また、印刷の遅延によるものです。申し訳ありません。2号は、11月13日の発行を予定していましたが、12月の発行となりました。ご迷惑をおかけしました。今後、発行の遅延を避けたいと思います。ご容赦ください。

子供達の味方 漢字の味方

子供達の漢字の勉強をサポートする。漢字の勉強は、子供にとって大変なことです。しかし、漢字は、コミュニケーションの重要なツールです。子供達が漢字を勉強できるように、私たちは、漢字の勉強をサポートします。子供達の漢字の勉強をサポートする。漢字の勉強は、子供にとって大変なことです。しかし、漢字は、コミュニケーションの重要なツールです。子供達が漢字を勉強できるように、私たちは、漢字の勉強をサポートします。

編集後記

2号の発行が遅れてしまつてごめんなさい! 理由は、編集作業が思ったより大変だったこと、また、印刷の遅延によるものです。申し訳ありません。2号は、11月13日の発行を予定していましたが、12月の発行となりました。ご迷惑をおかけしました。今後、発行の遅延を避けたいと思います。ご容赦ください。

ビューロー

特別号

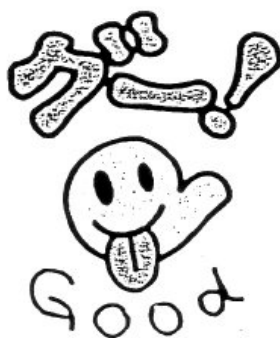
みうら青年
ボランティア
ビューロー
広報局

葉山ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	葉山町教育委員会 生涯学習課青少年係	046-876-1111 内線453	manabi@town.hayama.kanagawa.jp
活動エリア	葉山町全域	活動拠点	葉山町役場(教育委員会生涯学習課の事務所がある。)
自主活動	ビーチコーミング、子ども会派遣活動、ジュニア祭り		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	レクゲーム研修	先輩会員
中上級者向け	実施している	宿泊研修。ワークショップを通じてジュニアリーダーに求められる知識や経験を養成する。	先輩会員
活動上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加、不参加の二極化。定例会や行事に参加するリーダーの顔ぶれが固定化されつつある。 ・レクゲームのバリエーションが少ないので増やしていきたい。 		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	なし	内容 -
イベント(委託)	なし		
協力事業	相手先	町の青少年育成事業、子ども会派遣	
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ	
	回 数	12回 (昨年度)	延人数 64人
アピールポイント	町子ども会に声を掛け、子ども達と一緒にビーチコーミングをするなど積極的に地域に溶け込んだ活動をしている。		
会発足のきっかけ	青少年育成事業を推進していく上で、行政と子ども達の間立つ若者の存在が必要だと考え「ジュニアリーダー養成講座」の受講者に声を掛け発足した。		
会員募集方法	町主催の「ジュニアリーダー養成講座」の受講修了者に声を掛け募集する。		
参加動機	-		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 22歳	中高生中心
	年会費	1,000円	
	会員数	48人	実働人数 27人
	会則	あり	
指導者	高校生以上のジュニアリーダー		

ジュニアリーダー宿泊研修

期 日	平成17年3月30~31日
場 所	上郷森の家
対 象	ジュニアリーダー
内 容	ワークショップ(ゲーム、野外炊事)、ワークショップ(ジュニアリーダーの今後の活動について)、ワークショップ(森戸海岸にて)



藤沢市コミュニティーリーダー高校生

問い合わせ先	財団法人藤沢市青少年協会 0466-25-5215		youth@cityfujisawa.ne.jp			
活動エリア	藤沢市全域・県立の施設等		活動拠点	藤沢市青少年会館		
自主活動	青少年会館での秋の祭典に、卒業生を交えて出店をしたり、外国人と交流をし、異文化を学ぶ。また、外国人との親睦を深める。また、異年齢との交流も行い、小学生、中学生を対象にクリスマス会を開催する予定。					
自主研修			内 容	講師（指導者）		
初心者向け	実施していない		-	-		
中上級者向け	実施していない		-	-		
活動上の課題	後継者不足。この2・3年は会員を募っても集まらないのが現状。また、卒業生も終わってしまったら遊びに来るなど、事業の手伝いをするという傾向が見られなくなった。					
連携（協働事業）	連携（協働）相手	なし	内容	-		
イベント（委託）			なし			
協力事業	相手先	なし				
	内 容	-				
	回 数	-	延人数	-		
アピールポイント	高校生一人ひとりがしっかりと自覚を持ち、事業の打ち合わせなどには積極的に参加し、自分の意見をしっかりとっており、一般の高校生を対象に交流を深めるなど、外国の人との交流もする予定です。					
会発足のきっかけ	藤沢市が青少年を育成していく上で、青少年リーダーを育成してほしいと要望があり、市内の高校生に呼びかけた。					
会員募集方法	・市内高校(全校)にチラシ配付 ・藤沢市広報紙に掲示					
参加動機	-					
会員情報等	年齢層	15 歳 ~ 18 歳	高校生	年会費	なし	
	会員数	5人	実働人数	5人	会則	なし
指導者	担当職員					

藤沢市コミュニティーリーダー中学生

問い合わせ先	財団法人藤沢市青少年協会 0466 - 25 - 5215		youth@cityfujisawa.ne.jp			
活動エリア	藤沢市全域・県立の施設等		活動拠点	藤沢市青少年会館		
自主活動	藤沢での活動が中心で、夏過ぎのビーチクリーンなどをし、環境について考える場を与えるとともに、コミュニティーリーダーだけではなく一般の中学生も加え他学校との交流も深める事業を予定している。					
自主研修			内 容	講師（指導者）		
初心者向け	実施していない		-	-		
中上級者向け	実施していない		-	-		
活動上の課題	中学生は受験生もあり、部活等でなかなか全員で話し合える場が持てないのが現状で、打ち合わせの回数が多くなってしまふ。					
連携（協働事業）	連携（協働）相手	なし	内容	-		
イベント（委託）			なし			
協力事業	相手先	なし				
	内 容	-				
	回 数	-	延人数	-		
アピールポイント	中学生が一人ひとりがしっかりと自覚を持ち、一般の中学生を対象に交流を深めるなど、環境を考えた事業を年間事業計画の中に含んで活動をしている。					
会発足のきっかけ	藤沢市が青少年を育成していく上で、青少年リーダーを育成してほしいと要望があり、市内の中学生に呼びかけた。					
会員募集方法	・市内中学校(全校)にチラシ配付 ・藤沢市広報紙に掲示					
参加動機	-					
会員情報等	年齢層	13歳 ~ 15 歳	中学生	年会費	なし	
	会員数	18人	実働人数	18人	会則	なし
指導者	担当職員					

平塚市ジュニア・リーダーズクラブ

問い合わせ先	平塚市青少年課	0463-32-7029	seishonen@city.hiratsuka.kanagawa.jp
活動エリア	平塚市全域	活動拠点	平塚市青少年会館
自主活動	野外活動研修会、福祉体験研修会、宿泊研修会 など		
自主研修	内容		講師（指導者）
初心者向け	実施している	野外活動研修会、福祉体験研修会、宿泊研修会 など	先輩会員
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	-		
連携（協働事業）	連携（協働）相手	-	内容
イベント（委託）	成人式などの手伝い		
協力事業	相手先	平塚市の各地区の単位子ども会	
	内容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ、キャンプのスタッフ、キャンプ（キャンドル）ファイヤー、人形劇	
	回数	67回 平成16年度	延人数 257人 平成16年度
アピールポイント	自覚をもって行動し、責任感も高まることで、好奇心や物事に対する積極性も養われる		
会発足のきっかけ	昭和57年に、第1期平塚市中学生リーダー養成講習会（第2期より平塚市ジュニア・リーダー養成講習会と改名）の卒業生30名によって自主的に結成された団体		
会員募集方法	平塚市ジュニア・リーダー養成講習生へ申込書を配布 昨年度クラブ生へ継続申込書を配布		
参加動機	-		
会員情報等	年齢層	14歳 ~ 18歳	中高生
	会員数	85人	実働人数 30人
指導者	年会費 1600円 会則 あり		
	会員OB・OG		

平成17年度 事業計画

	自主事業	関連事業
2005年4月	総会	
5月		各地子ども会
6月	定例会（野外活動研修会）	
7月		七夕クリーン作戦
8月	定例会（CAMP）	海岸清掃
9月	定例会	
10月		各地区 地区レク
11月	定例会（登山）	浅間祭
12月		会館クリスマスパーティー 各地区クリスマス会
2006年1月	定例会（宿泊研修会）	
2月	定例会	
3月	定例会（レクゲーム・レクダンス講習会）	かいかん音楽まつり 各地区歓送迎会

その他の活動として、各地区活動、各部活動、ジュニアリーダー養成講習会、平塚市中高生地域リーダー県外交流体験事業、わんぱく体験隊、全国子ども会中央大会、海洋研修、関東甲信越静地区子ども会ジュニアリーダー大会、他市交歓会、ホームページ運営など

ヒコーキ雲の会

問い合わせ先	会長宅or平塚市青少年会館 0463-32-7029			-	
活動エリア	平塚市内	活動拠点	平塚市青少年会館		
自主活動	会報の発行、姉妹都市(アメリカ合衆国カンザス州ローレンス市)派遣団の受入イベント等				
自主研修	内 容			講師(指導者)	
初心者向け	実施していない	-	-		
中上級者向け	実施していない	-	-		
活動上の課題	-				
連携(協働事業)	連携(協働)相手	-	内容	-	
イベント(委託)	なし				
協力事業	相手先	なし			
	内 容	-			
	回 数	-	延人数	-	
アピールポイント	-				
会発足のきっかけ	平塚市青少年海外派遣事業の派遣団員OB・OGが、姉妹都市交流と団員間の交流を目的に発足した。				
会員募集方法	平塚市青少年海外派遣事業で派遣された団員がそのまま加入				
参加動機	-				
会員情報等	年齢層	13 歳 ~ 30 歳	-	年会費	1,000円
	会員数	185人	実働人数	20人	会則
指導者	-				

平成17年度ヒコーキ雲の会活動計画

2005年4月	Jet Stream1、お花見、スポーツ交流会
5月	ローレンス派遣団受け入れ実行委員会発足
6月	ローレンス派遣団受け入れ、Jet Stream2
7月	七夕クリーン大作戦、20次派遣団お見送り、20次派遣団お迎え
8月	社会見学、夏キャンプ in びわ、24hTV募金活動、ビーチ大会
9月	Jet Stream3、TOEIC講座
10月	浅間祭試し作り
11月	浅間祭、青少年健全育成のつどい、Jet Stream4
2006年1月	成人式お手伝い
3月	総会

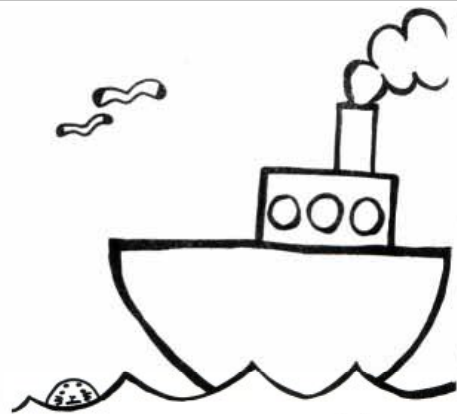
平塚市海洋少年隊

問い合わせ先	平塚市青少年課	0463-32-7029	-
活動エリア	平塚市域、洋上	活動拠点	平塚市青少年会館
自主活動	総会(親睦会)、浅間祭模擬店、七タクリーン清掃、青少年健全育成のつどい(育成フォーラム)、クリスマス会		
自主研修	内 容	講師(指導者)	
初心者向け	実施していない	-	-
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	特になし		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	-	内容
イベント(委託)	洋上研修(事前・本・事後研修)		
協力事業	相手先	洋上研修(事前・本・事後研修)	
	内 容	イベントのスタッフ	
	回 数	2回	延人数 4人
アピールポイント	中・高校生による自主的な活動		
会発足のきっかけ	夏季に行われる平塚市海洋少年団交流事業洋上研修のスタッフ育成のほか、ボランティア活動などの社会参加を目的とする。		
会員募集方法	平塚市海洋少年団交流事業参加者へチラシ等で勧誘		
参加動機	・活動内容(洋上研修へのスタッフ参加)への興味から ・皆でわいわい楽しくやるのが好きだから		
会員情報等	年齢層	14歳 ~ 16歳	中高生
	年会費	500円	
	会員数	12人	実働人数 12人
			会則
			ある
指導者	特になし		

平成17年度事業報告

	自主事業	関連事業
2005年4月	総会、親睦会	
5月	研修会	
6月	研修会	
7月	研修会	海洋少年団事前研修協力、七タクリーン作戦
8月		海洋少年団本研修・事後研修協力
9月	上半期反省会	
10月	交流会	
11月		浅間祭参加、青少年健全育成のつどい
12月	クリスマス会	
2006年3月	年度末反省会	

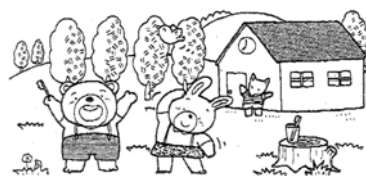
役員会議、企画会議は随時開催



茅ヶ崎市ジュニア・リーダーズ・クラブ

問い合わせ先	茅ヶ崎市青少年課	0467 - 82 - 1111	seishou@city.chigasaki.kanagawa.jp
活動エリア	茅ヶ崎市全域	活動拠点	茅ヶ崎市青少年会館
自主活動	8月スポーツ大会(ジュニアリーダーズクラブの親睦と交流)、11月市民ふれあいまつり(ふれあいコーナーにテントを出し、お祭りに来た子どもたちにクラフト指導をしたり、交流をする)		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	年間5回の研修を行い、リーダーとして必要なことを勉強するとともに、たくさんの仲間と出会いを体験し、お互いに学びあうことを大切にします。	青少年指導員、担当職員、神奈川県レクリエーション協会
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	-		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	茅ヶ崎市老人クラブ連合会	内容 お年寄りと子どもの踊りの交流と映画会
イベント(委託)	なし		
協力事業	相手先	茅ヶ崎市の各地区の単位子ども会、青少年課、老人会等	
	内 容	レクリエーションゲーム、単位子ども会の派遣依頼、ドッジボール審判(学区子ども会)、イベントのスタッフ、キャンプのスタッフ、キャンプ(キャンドル)ファイヤー	
	回 数	50~60回	延人数 300人
アピールポイント	子ども会活動及び社会参加活動の意義を理解し、ボランティアスピリットをもって、自己の成長を高め、思いやりを大切に作る仲間づくりを目的とする。		
会発足のきっかけ	20周年(茅ヶ崎市子ども会連絡協議会)を機会に青少年活動を活発に行うために青少年課と子ども会が協力して設立。		
会員募集方法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校4年生からインリーダー研修会参加の呼びかけをする。 ・中学校1年生を対象に「ジュニアリーダー養成基礎講座」参加の呼びかけを行う。 ・講座を受講しジュニアリーダーズクラブに登録する。 		
参加動機	-		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 18歳	中高生
	年会費	600円	
指導者	会員数	41人	実働人数 20人
	会則	あり	
指導者	会員OB・OG、青少年指導員、担当職員、茅ヶ崎市子ども会連絡協議会育成会々員(子ども会の役員経験者)		

ジュニアリーダー養成講座(主催:茅ヶ崎市教育委員会)



趣 旨	地域の行事などで、ボランティアで主に小学生を対し、ゲームや野外活動の指導する青少年リーダーを育てることを目的としている。講座修了後、ジュニアリーダーズクラブへの入会を呼びかけている。		
対 象	中学1年生		
内 容 (平成17年度)	日 程	内 容	目 的
	3/13(日)	ゲーム講習会	ゲームを通じた仲間づくり、ゲームやその組み立てを覚える。
	5/7(日)	KYT(危険予知トレーニング)	安全に活動するための知識・技術を身につける。
	6/25(土) 7/2(土) ~3(日)	『遊び体験教室』 スタッフ補助体験	先輩ジュニアリーダーの補助、班付リーダーを体験、ゲームリーダーも体験
	8/23(火)	ジュニアリーダー養成基礎講座	野外活動やゲーム(キャンドルファイヤー、グループワーク等)など、ジュニアリーダーとしての必要な技術を身につけます。
3/27(月)~ 3/28(火)	ジュニアリーダー養成実践講座	ディスカッション、グループワーク、ゲーム等を通して、地域活動のリーダーとしての質をさらに高める。	

秦野リーダー研修クラブ

問い合わせ先	秦野市教育委員会青少年課 0463-81-7011 seisyou@city.hadano.kanagawa.jp						
活動エリア	秦野市全域		活動拠点		秦野市立青少年会館		
自主活動	募集研修、自主研修						
自主研修	内 容				講師（指導者）		
初心者向け	実施している	キャンプの基本指導、ゲーム指導など		先輩会員、会員OB・OG、青少年指導員、担当職員、子ども役員			
中上級者向け	実施している	ゲーム指導など、指導員の研修に参加させてもらう		青少年指導員			
活動上の課題	後継者不足。 キャンプに活動が偏ってきている。						
連携（協働事業）	連携（協働）相手	YROH、諏訪市ジュニアリーダー	内 容		交流、研修		
イベント（委託）	なし						
協力事業	相手先	子どもまつり、青少年交流洋上体験研修事業、青少年交流会館師走祭、子ども会各種事業、新成人のつどい実行委員会					
	内 容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ					
	回 数	15回程度	延人数	-			
アピールポイント	-						
会発足のきっかけ	不明						
会員募集方法	・中学生対象のイベント参加者へ呼びかけ ・市広報での公募						
参加動機	・小学生、中学生のキャンプなどに参加したときに、自分もやりたいと思った。 ・ボランティア活動がしたかった。						
会員情報等	年齢層	15歳	～	25歳	高校生中心	年会費	2,000円
	会員数	17人		実働人数	17人	会則	あり
指導者	会員OB・OG、青少年指導員、担当職員、その他						

YROH(International The Young Relation Of Hadano)

問い合わせ先	秦野市青少年課 0463-81-7011 seisyou@city.hadano.kanagawa.jp						
活動エリア	世界中		活動拠点		秦野市青少年会館		
自主活動	海外の方を講師にした料理会、インドネシアの留学生を招いて宿泊交流・秦野市民の日のパネル展示、パヤオグッズ販売・輸入、ホームページの作成・開設・管理・フエビカ運動(鍵盤ハーモニカ・笛等の回収事業)、ユニセフ募金活動、国際ボランティア貯金						
自主研修	内 容				講師（指導者）		
初心者向け	実施していない	-			-		
中上級者向け	実施していない	-			-		
活動上の課題	・進学等の理由によるメンバーの流動化防止 ・活動啓発の必要性 日本人や外国人の講師招聘、研修参加による基礎知識習得 ・活動範囲が広いのである程度、活動的を絞る必要性がある						
連携（協働事業）	連携（協働）相手	秦野リーダー研修クラブ	内 容		交流		
イベント（委託）	なし						
協力事業	相手先	子どもまつり、青少年交流洋上体験研修事業、青少年会館師走祭、新成人のつどい実行委員会					
	内 容	スタッフとして協力					
	回 数	20回程度	延人数	150人程度			
アピールポイント	-						
会発足のきっかけ	秦野市海外派遣事業は、国際交流や国際協力に多少の興味を持つ青少年が、具体的に海外での実体験を通して、様々な青少年活動を行うための「きっかけ作り」として捉えている。この派遣団員の事後活動の場としてYROHが設立された。						
会員募集方法	(1) 秦野市が行う青少年海外派遣事業に参加した人 (2) 本会の目的に賛同する人を随時募集。						
参加動機	海外で得た成果を踏まえ、国際理解を深め様々なボランティア活動をしたいため。						
会員情報等	年齢層	14歳	～	25歳	高校生以上中心	年会費	なし
	会員数	54人		実働人数	20人	会則	あり
指導者	会員OB・OG、担当職員						

成瀬ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	伊勢原市青少年課	0463-94-7171	seisyounen@isehara-city.jp
活動エリア	伊勢原市内	活動拠点	成瀬公民館、伊勢原市青少年センター (伊勢原市青少年課の事務所がある)
自主活動	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生歓迎会(メンバー集め) ・ゲーム研修会 ・クリスマス会 		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	サマーキャンプ(野外活動実習)、ゲーム研修会	会員OB・OG 青少年指導員
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバー間の連絡網が上手くまわらない ・あまり行事に参加しないメンバーの活性化 		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	なし	内容 -
イベント(委託)	<ul style="list-style-type: none"> ・成瀬地区体育祭の賞品係 ・伊勢原市主催の工作ランドでの指導 ・成瀬地区青少年指導員連絡協議会主催のナイトウォークゴール後のレクリエーション 		
協力事業	相手先	伊勢原市成瀬地区の単位子ども会	
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ	
	回 数	5回/年	延人数 30人
アピールポイント	とにかく明るく、楽しく、一生懸命です。		
会発足のきっかけ	伊勢原ジュニアリーダーズクラブに参加していた成瀬地区のメンバーにより、より地域に密着した活動をしていこうとの趣旨で発足		
会員募集方法	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校にチラシを貼る。 ・新入生勧誘会(クラブ活動紹介)時にジュニアリーダーの活動を紹介する。 		
参加動機	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動がしたい。 ・インジュニアキャンプが楽しかったので同じような活動を続けたかった。 ・青少年指導員主催の行事に参加した際、手伝いをしていたジュニアをみて自分もしてみたかった。 		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 18歳	中高生
	年会費	1,000円	
	会員数	21人	実働人数 21人
	会則	あり	
指導者	青少年指導員		

伊勢原ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	伊勢原市青少年課	0463-94-7171	isehara_jlc@hotmail.com		
活動エリア	成瀬中学校区を除く伊勢原市全域、 要望に応じて市外への派遣も。 活動拠点 伊勢原市少年センター、大田公民館				
自主活動	・自主研修会(年2回)、他地域ジュニアリーダーズクラブとの交流会(年複数回) ・地域のお年寄りとの親睦交流会、活動拠点付近の清掃活動				
自主研修	内 容		講師(指導者)		
初心者向け	実施している	毎月の定例会の中で時間を設け、その都度の会員の要望に応じて研修を実施 レクゲーム、ジュニアリーダーに関する学習、KYT、調理研修、バルーンアートなど	先輩会員 他地域の シニアリーダーなど		
中上級者向け	実施している	JLの自主研修ではないが、年度末に伊勢原市子連が、指導者研修会として各単位子ども会の新役員対象にレクリエーションや安全教育の研修会を行っている。その中にジュニアリーダーを加えていただき、勉強させていただいている。	外部講師		
活動上の課題	会員数に対し依頼が非常に多く、JLは毎週末ほぼ休みなく活動しておりとても忙しいこと。それに伴い、自主活動や自主研修の時間を設けることができないこと。 若いリーダーたちが、どうしても高校生やシニアリーダーに頼りがちになってしまうこと。				
連携(協働事業)	連携(協働)相手	-	内容 -		
イベント(委託)	小中学校や公民館のふれあい祭り、市や市子連主催の事業、PTAや青少年指導員主催の事業などへの参加・協力。市商工会主催の大納涼祭り協力など。(年15回程度)				
協力事業	相手先	市内の単位子ども会、市内外の団体・施設、青少年課、市子連など			
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ、その他、キャンプのスタッフ、キャンプ(キャンドル)ファイヤー(その他:小中学生が主体となって行事運営するためのサポート。青少年育成者の話し合いへの参加協力)			
	回 数	約50回	延人数 300人		
アピールポイント	会員の仲が良いこと、元気が良いこと。会員同士協力し一生懸命活動していること。 市内の活動はもちろん、市外の活動にも積極的に参加しジュニアリーダーの横のつながりづくりに努めていること。				
会発足のきっかけ	子ども会活動をしていた当時の小学6年生(1期生)達が、中学に上がっても子ども会や地域での活動を仲間と一緒に継続して行いたいと考え、平成3年に発足。				
会員募集方法	・市内中学校及び小学6年生にチラシ配布 ・中学生対象の春のイベント企画への参加者に呼びかける。 ・年間の行事を通して随時呼びかける。				
参加動機	・リーダーの人がカッコよかった。 ・リーダーの人に憧れた。 ・会の雰囲気を楽しそうだった。				
会員情報等	年齢層	13歳 ~ 27歳	中高生	年会費	1,000円
	会員数	29人	実働人数 21人	会則	あり
指導者	会員OB・OG、青少年指導員				

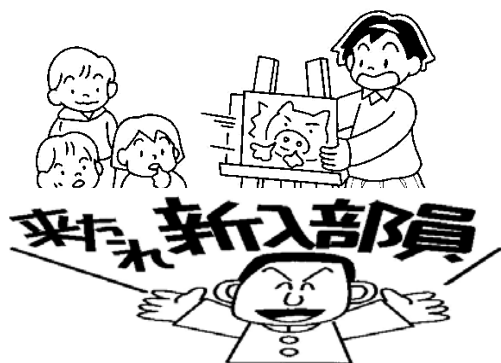
寒川町ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	寒川町生涯学習課青少年担当 0467 - 74 - 1111 syougai@town.samukawa.kanagawa.jp		
活動エリア	町内	活動拠点	寒川町教育委員会
自主活動	毎月1回定例会を開き、会員同士の情報交換・行事の予定等を話し合う		
自主研修	内 容		講師（指導者）
初心者向け	実施している	レクゲームを通しての仲間づくり	青少年指導員 青少年指導員OB
中上級者向け	実施している	自主キャンプを行い、スタッフとして必要な知識、技術の習得	青少年指導員
活動上の課題	男女の比率が偏っている		
連携（協働事業）	連携（協働）相手	青少年指導員連絡協議会	内容 子どもまつりや小学生リーダーキャンプにクラブが人員提供、企画、運営をする
イベント（委託）	なし		
協力事業	相手先	なし	
	内 容	-	
	回 数	-	延人数 -
アピールポイント	異年齢間の交流により、リーダーの育成に対し高校生から中学生へと伝承がスムーズになり途切れにくくなる。		
会発足のきっかけ	数年前まで中学生友の会があったが、中学卒業後のリーダーとしての活動の場を広げることを目的として、中高生が一体となったジュニアリーダーズクラブを立ち上げる。		
会員募集方法	町内中学校（全員）にチラシ配布 ・中学生対象のイベント企画への参加を呼びかける		
参加動機	キャンプの時ジュニアの人が格好良かった、自分たちで何かやりたかった、視野を広げたかった。		
会員情報等	年齢層	13 歳 ~ 18 歳	高校生
	年会費	600円	
	会員数	46人	実働人数 25人
	会則	ある	
指導者	青少年指導員		

新会員募集！レクゲーム大会

寒川町ジュニアリーダーズクラブは、中学生・高校生が教育委員会の行うリーダーキャンプのアシストや、子ども会のお手伝いなど様々な活動を行うボランティアグループです。あなたも、一緒に活動してみませんか。

新会員募集とジュニアリーダーズクラブ体験会を兼ねたゲーム大会を開催しますので、参加をお待ちしています。



日時 平成17年5月14日（土）
13：00～16：00

場所 北部公民館集会室

内容 レクゲームなど

参加 人数把握のため、下記問合せ先まで連絡して下さい。

大磯町ジュニアリーダースクラブ

問い合わせ先	大磯町生涯学習課	0463-61-4100	-
活動エリア	町内の生涯学習施設、運動公園、足柄ふれあいの村(キャンプ等)	活動拠点	大磯町生涯学習館
自主活動	青少年キャンプ、クリスマス会、その他町の行事等。		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施していない	-	-
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	ジュニアリーダーの会員数が年々減少している。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	なし	内容 -
イベント(委託)	青少年キャンプ、クリスマス会。		
協力事業	相手先	子ども会(小学4,5,6年生)	
	内 容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ	
	回 数	2回	延人数 50人
アピールポイント	人数が少ないが、その分結束が堅く仲良く活動をしている。		
会発足のきっかけ	町子連が組織して、小学生等のリーダー的存在をつくった。		
会員募集方法	広報大磯に掲載し、募集をかける。子ども会を通じて募集する。		
参加動機	ジュニアリーダーとなり、小学生のまとめ役になりたい。		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 15歳	中高生中心
	会員数	7人	実働人数 7人
指導者	年会費	なし	なし
	会則	なし	なし
指導者	青少年指導員		

二宮町シニアリーダースクラブ

問い合わせ先	二宮町生涯学習課	TEL 0463-72-6912	radiant@town.ninomiya.kanagawa.jp
活動エリア	二宮町全域	活動拠点	二宮町生涯学習センター
自主活動	町内落書き消し、町内ゴミ拾い、地元中学体育祭手伝い(派遣)、町内単位子ども会活動手伝い(派遣)		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施する予定	未定。レクについて、その技術を徹底的に研修する予定	未定
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	数年前にベテランの年代が一度に抜けたため、一時的に混乱し、組織的にも崩壊しかかったが、現在は持ち直し、会員も増加傾向にあるが、まだ、内部の問題を自分たちだけで解決する能力が未熟である。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	地域ボランティア団体、青少年指導員等	内容 -
イベント(委託)	なし		
協力事業	相手先	町子ども会野外活動、町内単位子ども会活動手伝い、町恵友会各種研修、町教育委員会事業手伝い、町ゴミ拾いキャンペーン	
	内 容	子どもへの指導	
	回 数	7回(4月~8月現在)	延人数 約50
アピールポイント	現在、青少年指導員には相談をするのみで、全て自分たちで運営している。		
会発足のきっかけ	中学生団体「恵友会」を卒業後も自分たちで自主的にボランティア活動をしたいという有志と、青少年指導員の指導によって始まった。		
会員募集方法	中学生青少年ボランティア団体「恵友会」の卒業生に直接勧誘する以外、町広報、ポスター等で勧誘する。		
参加動機	現会員の9割が「恵友会」の出身で、その時楽しかったからこれからも同じような活動をしていきたいというのが多い動機です。それ以外は子どもが好きで地域の子供と係るボランティアをしたいという理由で入会した子もいます。		
会員情報等	年齢層	15歳 ~ 20歳	高校生中心
	会員数	20人	実働人数 20人
指導者	年会費	1,000円	あり
	会則	あり	あり
指導者	会員OB・OG、青少年指導員、事務局		

厚木市ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	厚木市青少年課	046-225-2580	8700@city.atsugi.kanagawa.jp		
活動エリア	厚木市全域	活動拠点	厚木市ヤングコミュニティセンター		
自主活動	中学校へのチラシ配布、ゲーム研修会、クリスマス研修会等				
自主研修	内 容		講師（指導者）		
初心者向け	実施している	ジュニアリーダー新規加入者に対し、ジュニアリーダーについて研修してもらう	先輩会員		
中上級者向け	実施している	中学生2・3年生のジュニアリーダーに対し研修を行う	先輩会員		
活動上の課題	ジュニアリーダー引退後、活動の場を提供すること。				
連携（協働事業）	連携（協働）相手	青少年指導員	内容 少年少女フェスティバル ヤングコミュニティセンターフェスティバル		
イベント（委託）	厚木市と秋田県横手市との子ども会交流への随行派遣				
協力事業	相手先	両市の子ども会			
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ			
	回 数	10回	延人数 約50人		
アピールポイント	指導者研修会、初・中級研修会、上級研修会、自主研修会等、積極的に活動している。				
会発足のきっかけ	ジュニアリーダーの資質の向上を図るとともに、青少年関係団体、特に子ども会への協力及び地域社会への参加を通じて、明るいまちづくりの進展に寄与することを目的に発足された				
会員募集方法	・市内中学校にチラシを配布 ・小学校5・6年生対象の子ども会インリーダー研修会で加入を呼びかけている				
参加動機	・ジュニア活動、ボランティア活動に興味があった。 ・小学生のとき、ジュニアのお兄さんお姉さんに憧れた。 ・子どもが好きだから				
会員情報等	年齢層	13歳(中1)～17歳(高2)	中高生	年会費	入会金100円
	会員数	200人	実働人数	100人	会則
指導者	会員OB・OG、青少年指導員、担当職員、子ども会育成者				

平成17年度 事業計画

2005年4～5月	自主事業	各中学校区総会
4月	自主事業	総会
5月15日	市主催事業	少年少女フェスティバル協力
5月28～29日	市主催事業	養成(カウンセラー)研修会
6月5日	市主催事業	子ども育成者・インリーダー研修会協力
7月23～24日	市主催事業	養成(初級:第29期生+中級)研修会
7月29～31日	市主催事業	少年少女国内交流会
7月29～31日	-	関東甲信越静地区子ども会ジュニアリーダー大会
9月11日	協力事業	青空ライブに協力
10月	協力事業	赤い羽根共同募金街頭運動協力
10月16日	市主催事業	少年少女球技大会に協力
11月13～14日	市主催事業	ヤングコミュニティセンターフェスティバルに協力
11月21日	自主事業	クリスマス研修会
2月26日	市主催事業	少年少女芸術鑑賞会に協力
3月11～12日	市主催事業	養成(上級)研修会
3月28～29日	自主事業	宿泊研修会



養成研修会については、先輩のジュニアリーダーがスタッフになって、企画・運営・実施している。

大和市ジュニアリーダー研修会

問い合わせ先	大和市青少年センター	046-260-5224	seishou@city.yamato.lg.jp		
活動エリア	市内全域	活動拠点	大和市青少年センター		
自主活動	野外炊事場でのデイキャンプ・県レクリエーション協会会員の指導によるキャンプファイヤーの研修・宿泊を伴う野外活動等の実施。				
自主研修	内 容		講師（指導者）		
初心者向け	実施していない	-	-		
中上級者向け	実施していない	-	-		
活動上の課題	応募者が少ないため、年代層の偏りやメンバーのマンネリ化が見られる。				
連携（協働事業）	連携（協働）相手	なし	内容 -		
イベント（委託）	地域における夏休みキャンプにおける運営協力(2地区)				
協力事業	相手先	なし			
	内 容	-			
	回 数	-	延人数 -		
アピールポイント	幅広い年齢層の会員が、互いに研鑽しあい、より良いジュニアリーダーとなるべく活動を進めている。				
会発足のきっかけ	子ども会や地区の行事において、子ども達を遊ばせるゲーム依頼等を年間を通じて受ける中、野外活動やレクリエーション、ゲーム等の更なるスキルアップを図るため、ジュニアリーダー研修会を企画した。				
会員募集方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実施に先がけ、市広報に募集記事を掲載。参加希望者は随時入会受付。 ・ボランティアサークル「サークルありんこ」会員に呼びかけ、参加希望者を募る。 ・市内中学校・高校にチラシおよび掲示用ポスターを配布。参加希望者を募る。 				
参加動機	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報およびポスター・チラシをみて、この研修会に興味を持った。 ・子ども会で遊んでもらったので、自分でもやってみたかった。 ・将来、保育関係の仕事を希望しているのので、やってみたかった。 				
会員情報等	年齢層	14歳 ~ 30歳	中高生中心	年会費	なし
	会員数	18人	実働人数 18人	会則	なし
指導者	会員OB・OG、県レクリエーション協会会員				



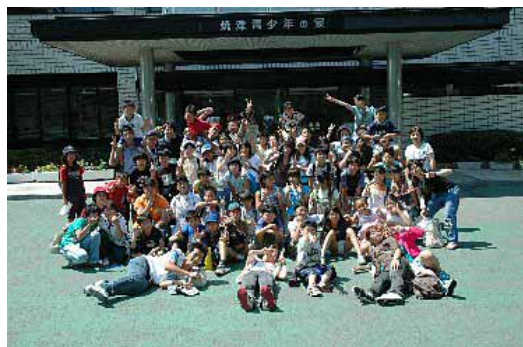
活動の様子

大和ユースクラブ・わくわく冒険隊

問い合わせ先	大和市青少年センター	046-260-5224	seisho@city.yamato.lg.jp
活動エリア	大和市全域	活動拠点	大和市青少年センター
自主活動	宿泊研修(春・夏・冬)、定例会(ユース・わくわく)を中心に学校や地域・家庭ではできない活動を、年間を通して、自分達自身で自主的に企画・実施している。		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施していない	-	-
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	-		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	青少年指導員連絡協議会	内容 青少年指導員との交流会の企画・運営をする。
イベント(委託)	小学校5,6年生対象の夏休みキャンプの企画、運営、実施		
協力事業	相手先	大和市内各種団体の事業等の支援・大和市事業(成人式等)の支援	
	内 容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ	
	回 数	9回	延人数 85人
アピールポイント	異年齢集団が相互に連携をとりながら、いろいろなことに興味・関心を持ち、積極的に取り組む姿勢を身につけようとしている。		
会発足のきっかけ	発足前は、ジュニアリーダー研修会、青年リーダー研修会といった名称で、年間数回実施していたが、活動内容、活動形態などを抜本的に改め、ユースクラブを立ち上げた。		
会員募集方法	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年3月に市広報にて募集、中学生以上は随時入会受付。 ・小学校5,6年生対象の「わくわく冒険隊」(ユースクラブ支援)卒業生に呼びかける。 ・中学生対象のイベント企画への参加者に呼びかける。 		
参加動機	<ul style="list-style-type: none"> ・広報やまを見て、体験活動、ボランティア活動に興味を持った。 ・わくわく冒険隊に参加して、引き続きユースクラブの活動もやってみたかった。 ・宿泊研修に参加したかった。 		
会員情報等	年齢層	10歳 ~ 30歳	ユースクラブは中高生、わくわく冒険隊は小学生
	会員数	137人	実働人数 100人
指導者	年会費	ユースクラブ(なし・行事内容によって実費負担) わくわく冒険隊(年会費3000円)	
	会則	あり	



カヌー体験



参加者 集合写真

海老名市ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	海老名市青少年課	046-231-9787	seisyonen@city.ebina.kanagawa.jp				
活動エリア	海老名市全域		活動拠点	海老名市立青少年会館			
自主活動	子ども会等の各種行事から依頼を受け、レクゲーム等のお手伝いをしている。						
自主研修	内容		講師（指導者）				
初心者向け	実施している	夏休みに2泊3日で実施。ジュニアリーダーとして活動していく上で、必要な知識、技術の習得。	先輩会員、担当職員、担当職員、相談役（2人）				
中上級者向け	実施していない	-	-				
活動上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業に参加できない会員が目立つ。 ・ジュニアリーダー活動と部活動の両立。 						
連携（協働事業）	連携（協働）相手	なし	内容	-			
イベント（委託）	小6～中3対象の養成研修会						
協力事業	相手先	海老名市の各地区単位子ども会					
	内容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ					
	回数	43回	延人数	142人			
アピールポイント	各自主事業の企画・運営を全て会員で行う。						
会発足のきっかけ	不明						
会員募集方法	毎年度3月に開催する養成研修会で募集(小6～中3対象)						
参加動機	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しそうだったから。 ・キャンプを自分で企画してみたかったから。 ・ボランティア活動を試してみたかったから。 						
会員情報等	年齢層	12歳	～	29歳	中高生中心	年会費	1,200円
	会員数	39人	実働人数	34人	会則	あり	
指導者	会員OB・OG、担当職員、相談役（2人）						

平成17年度実施事業

4月	定期総会
8月	自主研修会
10月	運動会
2月	はつはるまつり(青少年会館主催事業)参加予定
3月	養成研修会 開催予定

この他に、市内子ども会等の各種行事お手伝いとして、今年度は32件の依頼を受けました。(12月末現在)

座間市ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	座間市青少年課	046-253-8415	sseinen@city.zama.kanagawa.jp		
活動エリア	座間市全域	活動拠点	座間市青少年センター		
自主活動	市子連主催のリーダー野外キャンプの為の事前研修や相模川クリーン作戦での清掃、ふるさと祭りでのアトラクションをして集う子どもたちとの親睦を深めている。				
自主研修	内 容		講師（指導者）		
初心者向け	実施している	KYT、仲間づくり、ジュニアリーダーの役割とは何かを考える	先輩会員、会員OB・OG、担当職員		
中上級者向け	実施している	厚木市のジュニアと1日合同研修。スタッフとして活動していく上に必要な知識・技術の養成。	他市のジュニアリーダー		
活動上の課題	ジュニアリーダー卒業後、地域とのつながりがなくなる。活動場がなかなかない。				
連携（協働事業）	連携（協働）相手	座間市青少年センター	内容 青少年センターのお祭り等に会場提供をしてもらい、クラブは人員提供、企画・運営をする。		
イベント（委託）	市子連主催のリーダー野外キャンプや市子連ピックの協力をしている。				
協力事業	相手先	座間市の単位子ども会			
	内 容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ			
	回 数	3～5回	延人数 100人		
アピールポイント	会員の明るさ、リーダー性、参画意識				
会発足のきっかけ	子ども会活動を実施していく上で、若者の存在が必要だという要望があり、子ども会のリーダーに声をかけ発足した。				
会員募集方法	・市広報にて募集案内 ・小学校4,5,6年生対象の夏のリーダーキャンプ参加者に呼びかける。				
参加動機	・リーダーの人がおもしろい人だった。 ・リーダーの人がかっこよかった。 ・皆で楽しそうだったから。				
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 22歳	中高生中心	年会費	なし
	会員数	45人	実働人数 34人	会則	なし
指導者	会員OB・OG、担当職員、市子連役員				

初心者向け研修

ジュニアリーダーズクラブ開講式 (日帰り)	目的	ジュニアリーダーの役割の理解、仲間づくり
	内容	レクリエーションゲーム、レクダンス、KYT(危険予知トレーニング)を実施

中上級者向け研修

厚木市 & 座間市交流会(日帰り)	目的	互いの地域の向上
	内容	厚木市との合同研修会、ゲーム研修、KYT、ディベート、キャンドルファイヤー

ジュニアリーダーズクラブオブあやせ (JLC of あやせ)

問い合わせ先	綾瀬市青少年課	0467-70-5655	su7220@city.ayase.kanagawa.jp
活動エリア	綾瀬市全域	活動拠点	中村地区センター(定例会等開催) 綾瀬市青少年課
自主活動	ジュニアリーダー新聞の発行(春夏秋冬で作成)		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	JLC of あやせ会員全員が対象で、夏休みに2泊3日で行う。JLとして必要な技術の向上や仲間とのきずなを深めることを目的とする。	先輩会員、会員OB・OG、担当職員
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	今年新たにジュニアリーダーに加入した中学1年生と先輩ジュニアとの交流。及び全体的にジュニアリーダーとしての技術の向上。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	特になし	内容
イベント(委託)	綾瀬ロータリークラブ主催の「綾瀬子ども祭り」においてJL及びシニアリーダーが参加し、模擬店等を出したりして住民同士の親睦等を深めるために努力している。		
協力事業	相手先	綾瀬市の各地区の単位子ども会、青少年課、老人会等	
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ、キャンプのスタッフ、キャンプ(キャンプ)ファイヤー	
	回 数	47回	延人数 160人
アピールポイント	会員の明るさ、リーダー性はもちろんのこと、中心的に活動しているのが中学1年から高校生までと幅広いので、単位子ども会の活動においても低学年から高学年まで幅広く対応できる。また、元気が良く、笑いが絶えないクラブである。		
会発足のきっかけ	昭和58年10月に開催された高相地区子連ジュニアリーダー研修会に参加した中学生11名が本市におけるJLの必要性を強く感じ、発足準備会を結成した。その後、当時の子ども会会長と調整をし、その11名が中心になり、昭和59年5月に発足した。		
会員募集方法	・小学校4～6年生対象の春の少年リーダーキャンプにて呼びかける。 ・3月に1泊2日で行う春季研修会にて呼びかける。 ・現在のJL会員が個々に友人を誘う。		
参加動機	・リーダーの人がかっこよかったから ・リーダーの人が明るく楽しそうだったから		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 38歳	中高生・社会人が多い
	年会費	1,200円	
	会員数	39人	実働人数 12人
	会則	あり	
指導者	会員OB・OG、担当職員		

平成16年度自主研修プログラム

インリーダーキャンプ	目的	ジュニアリーダーとしての知識、技術、能力の向上を図る。	対象	ジュニアリーダー
2004年8月12日～14日	内容	レクリエーション研修、闇夜の神隠し、レクダンス、宝探し、野外炊事、キャンプファイヤー、川遊び		
ジュニアリーダー春季研修会	目的	市内の小中学校6年生対象に、規律ある集団生活やレクリエーションゲーム等を経験することにより、地域でのリーダーの育成とジュニアリーダーの養成を図る。		
2005年3月26日～27日	対象	小学校6年生、スタッフとしてJL、SL、市子連役員3人、市担当者2人		
	内容	レクリエーションゲーム、レクダンス練習、創作料理、キャンプファイヤー、ウォークラリー		

自然とのふれあい、仲間とのふれあいを目的として、以下の研修会も実施しています。

少年リーダー研修会(対象:小学校4～6年生、時期:5月、1泊2日)

ジュニアリーダー研修会(対象:中学生、時期:6月、1泊2日)



愛川ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	愛川町教育委員会 生涯学習課青少年教育班	046-285-1111 (内線:527)	k-namizuka@town.aikawa.kanagawa.jp
活動エリア	愛川町全域 活動拠点 愛川町文化会館		
自主活動	リーダーズ会議で小学生対象のイベント企画		
自主研修	内 容		講師（指導者）
初心者向け	実施している	ジュニアリーダー・インリーダー研修会	愛川レクリエーションクラブ
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	会員数は多いが行事や部活等の関係で実働人数確保が難しい。		
連携（協働事業）	連携（協働）相手	特になし	内容 -
イベント（委託）	サマーフェスティバル参加		
協力事業	相手先	依頼があれば自分の地区の催し物の手伝いに	
	内 容	子ども会活動の手伝い	
	回 数	今年度依頼は5回	延人数 20人
アピールポイント	楽しいイベントを企画し、中高生が、小学生をひっぱることにより、自らリーダーとしての資質向上に励める。		
会発足のきっかけ	子ども会活動を実施していく上で、中高生にリーダー等として参加してもらいたいという要望があった。		
会員募集方法	市内中学校(全員)にチラシ配布		
参加動機	楽しそうだから		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 16歳	中高生
	会員数	88人	実働人数 20人
			年会費 なし
			会則 なし
指導者	事務局、愛川レククラブ		

愛川ジュニアリーダーズクラブ インリーダー研修会プログラム

午前	レクリエーションの基本的なプログラム、演習実技
午後	ニュースポーツ
指導	愛川レクリエーションクラブ



ジュニアリーダー・インリーダー研修会



第1回ジュニアリーダー会議

小田原市ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	小田原市教育委員会青少年課	0465-33-1736	seisho@city.odawara.kanagawa.jp		
活動エリア	小田原市内全域	活動拠点	青少年ワークスペース (小田原市青少年相談センター内)		
自主活動	定例会(月1回)、キャンプ、クリスマス会を開催し、会員間の親睦を深めるとともに指導者としての知識、技術の向上を図る。				
自主研修	内 容		講師(指導者)		
初心者向け	実施している	月1回、ゲーム研修を開催	先輩会員		
中上級者向け	実施している	野外活動研修(初心者も含め、青少年育成推進員と一緒に、キャンプについて学ぶ)	外部講師(県内青少年宿泊施設の職員)		
活動上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者としての意識の高め方 ・お手伝いの機会がかなり多く、人数調整が難しい。 ・卒業後の活動が続かない。 				
連携(協働事業)	連携(協働)相手	小田原市青少年育成推進員協議会	内容 市が同協議会へ委託している「地域少年リーダー養成講座」の企画・運営に従事する		
イベント(委託)	地域少年リーダー養成講座(2泊3日の野外体験キャンプ)、小田原市・今市市子ども会交歓会(1泊2日の交流会)、ふれあい子どもフェスティバル(市内子ども会のスポーツイベント)、インリーダー研修会(新小6対象のリーダー研修)の企画・運営				
協力事業	相手先	地域の子ども会、市等主催のフェスティバル			
	内 容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ			
	回 数	47回	延人数 148人		
アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の明るさ、リーダー性、参画意識 ・地域少年リーダー養成講座のような行事に企画の段階から関わり、指導者としての意識を高めている。 ・地域子ども会のイベントにも積極的に関わり活動している。 				
会発足のきっかけ	進んで地域の子どもの指導にあたり、地域活動を活発にし、指導者としての技術を身につけた中学生・高校生を養成することを目的として発足した。 (要望があったのか市が独自に立ち上げたのかは不明)				
会員募集方法	・地域少年リーダー養成講座参加者、小田原市・今市市子ども会交歓会参加者、問い合わせのあった人に呼びかける				
参加動機	<ul style="list-style-type: none"> ・行事に参加したらジュニアリーダーの人が楽しそうだったから ・みんなをひっぱっていきい先輩になりたいから ・他の学校の友達をたくさん作りたいから 				
会員情報等	年齢層	14歳～18歳	中高生	年会費	1,000円
	会員数	71人	実働人数 55人	会則	ある
指導者	会員OB・OG、担当職員				

平成17年度活動計画

2005年4月10日	総会・4月定例会
5月	地域少年リーダー養成講座の企画に参加
7月	小田原市・今市市子ども会交歓会事前研修協力(2日)、地域少年リーダー養成講座事前研修協力(3日)、ふれあい子どもフェスティバル協力(9日)、地域少年リーダー養成講座事前研修協力(23～25日、塔ノ峰青少年の家2泊3日)、小田原市・今市市子ども会交歓会協力(28～29日、1泊2日)
8月28日	小田原市・今市市子ども会交歓会事後研修協力
9月上旬	地域少年リーダー養成講座 第1回事後研修協力
9月または10月	神奈川県主催「子どもを支援する若者セミナー」参加
2006年1月28日	インリーダー研修会協力
3月上旬	地域少年リーダー養成講座 第2回事後研修協力
定例会(月1回):ゲーム研修、キャンプ研修(8月2泊3日、3月1泊2日)等、役員会(月2回)、機関誌発行 地域依頼行事への協力(子ども会キャンプ、クリスマス会等)、レクリエーション、放課後児童クラブ手伝い	

小田原市シニア・リーダーズ・クラブ

問い合わせ先	小田原市教育委員会青少年課	0465-33-1736	seisho@city.odawara.kanagawa.jp
活動エリア	小田原市全域	活動拠点	青少年ワークスペース(小田原市青少年相談センター内)
自主活動	中高生以上を対象とした「ナイトウォーク」、小学生を対象とした料理教室、海外青年協力隊の方に講話をいただく「国際シンポジウム」などを実施し、青少年と社会とのパイプ役としてふれあいの場を提供するとともに、自己の向上に努めている。定例会(月1回)		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	レクリエーションを通じて親睦を深める、活動内容の理解、自主企画の立案・運営方法の指導など	先輩会員
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	後継者不足		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	特になし	内容
イベント(委託)	きらめき子どもフェスタの運営補助(子どもたちの学習成果や活動発表、模擬店など)		
協力事業	相手先	イベント募集対象として主に市内の子ども	
	内 容	イベントのスタッフ	
	回 数	1回	延人数 20人
アピールポイント	・地域の青少年と大人を結ぶパイプ役として活動している ・自主的に企画し行動する		
会発足のきっかけ	大学生以上の有志が集まり発足した。		
会員募集方法	・チラシの配置(青少年課内) ・当団体主催のイベント参加者に呼びかける		
参加動機	・ボランティアに興味がある ・当団体主催イベントにスタッフとして関わりたい		
会員情報等	年齢層	18歳 ~ 30歳	大学生・社会人中心
	年会費	500円	
	会員数	27人	実働人数 10人
	会則	ある	
指導者	会員OB・OG		

平成17年度事業計画

	イベント	他活動への協力	研修・自主企画	親睦・その他
2005年4月			ダーツ同好会(自主企画)	総会
5月	スポーツ大会		キャンプin塔ノ峰(研修)	SSN(機関誌)8号
6月				青少年育成推進委員との話し合い
7月			青少年関係職員研修 講師(研修)	
8月	ナイトウォーク			
9月	キャンプin塔ノ峰			
10月			秘密の企画(自主企画)	
11月				親睦旅行
12月	パティシエになろう		みかん狩り(自主企画)	SSN(機関誌)9号
2006年1月		成人式のお手伝い		
2月	第7回国際シンポジウム	きらめき子どもフェスタ		
3月			入会説明 会(研修)	いちご狩り (自主企画)

湯河原町ジュニアリーダーズ・クラブ

問い合わせ先	湯河原町教育委員会事務局 社会教育課(青少年担当)	0465-63-2111 内線834	syakaiky@town.yugawara.kanagawa.jp		
活動エリア	湯河原町内全域及び周辺 活動拠点 (特に設けていない)				
自主活動	他市町村JLとの交流会(年1回)				
自主研修	内 容		講師(指導者)		
初心者向け	実施している	危険予知トレーニングの実践	県子ども会安全会		
中上級者向け	実施している	危険予知トレーニングの実践	県子ども会安全会		
活動上の課題	自主活動(JL単独で企画・運営・実施)を増やしていきたい。				
連携(協働事業)	連携(協働)相手 湯河原町青少年指導員会	内 容	ネイチャーゲームやふれあい活動への参加及び協力(予定)		
イベント(委託)	小学校5・6年生対象のリーダー研修会、子ども会主催のイベント企画・運営・実施協力				
協力事業	相手先	湯河原町子ども会・地区子ども会			
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ、キャンプのスタッフ、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、産業まつりでのJLブース参加、社会参加活動として青少年関係団体による「おだわら提灯」作り、海岸清掃に参加			
	回 数	10回	延人数 60人		
アピールポイント	あらゆる活動(子ども会・地域・・・)の中で、常になくはならない存在と認識されてきた。子どもたちからも“やさしい・たのしい・すごい”という声が多くあげられている。				
会発足のきっかけ	子ども会活動、学校・地域活動を実施していく上で、子ども会の“お兄さん・お姉さん”的役割が必要だという事でジュニアリーダーが発足した。				
会員募集方法	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会小学生会員に対する募集チラシの配布 ・中学校1年生に対する募集チラシの配布 ・町広報誌による募集広告 				
参加動機	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動への興味 ・子ども会活動への参加意欲 				
会員情報等	年齢層	13歳 ~ 18歳	中高生	年会費	1000円
	会員数	33人	実働人数	33人	会則
指導者	ジュニアリーダー担当 子ども会役員(三役相当)				



インリーダー研修会での指導と準備を担当



親善都市との交流会でゲーム指導

大井町ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	大井町教育委員会生涯学習課	0465-85-5016	kyouiku@town.oi.kanagawa.jp
活動エリア	青少年指導員と一体となって活動 活動拠点 会議は中央公民館会議室等で行っている。		
自主活動	ジュニアリーダーキャンプ、他市町のジュニアリーダーとの交流会		
自主研修	内 容		講師（指導者）
初心者向け	実施している	野外活動指導者研修会の開催。レクリエーションゲームの進め方を研修。	藤野芸術の家事業課長 西野 祐 氏
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	部活動や学習塾への通学など、中学・高校生は多忙な毎日を送っている。基本的には学校行事を優先し、できる範囲で良いのでジュニアの活動への参加を呼びかけているが、日程調整が難しい場面が多々ある。		
連携（協働事業）	連携（協働）相手	特になし	内容 -
イベント（委託）	子どもキャンプの企画運営、子どもドッジボール大会、町民体育大会、子どもフェスティバル等のボランティア		
協力事業	相手先	なし	
	内 容	-	
	回 数	-	延人数 -
アピールポイント	青少年指導員と一体となって活動をしている。主体性にやや欠けている部分もあるが、ジュニアリーダーの活動で1泊2日のキャンプを行いたいなどの要望も出てきて、積極性が見られるようになってきた。		
会発足のきっかけ	従来から、ジュニアリーダーとして子どもキャンプのボランティアをお願いしていたが、子どもキャンプのみのかかりであった。青少年指導員協議会ではジュニアリーダーの育成を通して青少年の健全育成を図るため同会の中にジュニアリーダー実行委員会を設け、ジュニアリーダーズクラブが発足された。		
会員募集方法	町内中学校(全員)にチラシ配布、町広報に掲載		
参加動機	いろいろなことに挑戦してみたい。		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 21歳	中学生中心 年会費 1,000円
	会員数	46人	実働人数 40人 会則 あり
指導者	青少年指導員		

平成17年度 「野外活動指導者研修会」

目 的	地域のリーダーを育成していくために、有効なレクリエーションゲームを学び、団体活動の円滑な運営を行っていく方法を学ぶ機会とする。
期 日	平成17年6月11日(土) 9:15～12:00
場 所	大井町総合体育館 多目的室
対 象	ジュニアリーダー、子ども会育成者連絡協議会、母親クラブ本部役員並びに各単位役員、青少年指導員、幼稚園教職員、保育園保育士、少年スポーツクラブ育成者、町民一般など
内 容	夏季行事などに生かせるレクリエーションゲームなどの基本を学ぶとともに、指導者の動きの基本を学ぶ。

最初に行うゲーム(ハンドゲーム:グー・パー、数え拍手、王様じゃんけん、指折りゲーム、ワイパー)

中盤に行うゲーム(シンキング・ゲーム:肩たたき、ひざたたき、手たたき、ドン、パラパパパー)+キャッチ、オット失礼動きのあるゲーム(ジャンケンゲーム:じゃんけんお回り、じゃんけんお開き、じゃんけんお縮み、じゃんけん変身、円を作るためのじゃんけん)

円を作って行うゲーム(集合ゲーム、しあわせなら手をたたこう、貨車の入れ替え)

列を作って行うゲーム(伝言ゲーム、ジャンケン・シェー、集団じゃんけん)

終末などに行うゲーム(ひざたたき) まとめにかえて

山北ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	山北町子ども会 育成連絡協議会 (略称 山子連)	0465-75-3503	t-ueki@mx9.tten.ne.jp
活動エリア	山北町内	活動拠点	山北町立中央公民館(定例会開催場所)
自主活動	現在なし		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施していない	-	-
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	会員の増強	育成者(指導者)の協力及び育成	行政機関の協力
連携(協働事業)	連携(協働)相手	山北町子ども会育成会 連絡協議会(山子連)	内容
イベント(委託)	町教育委員会主催の「ジュニアリーダー研修会」(小学6年生対象)キャンプのスタッフとして参加		
協力事業	相手先	山北町子ども会育成会連絡協議会行事への参加	
	内 容	キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ	
	回 数	3回	延人数 25人
アピールポイント	会員の自主性、責任感、協調性等を身につけさせ、リーダーシップを持ち合わせたジュニアを育成する。		
会発足のきっかけ	他市町村子ども会育成会との交流中に、意見交換があり、小学校卒業後の子どもたちの活動の場に合致した。		
会員募集方法	小学6年生の子ども会会員全員に募集案内配布		
参加動機	キャンプがしたい		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 14歳	中学生
	会員数	9人	実働人数 9人
			年会費 なし
			会則 なし
指導者	山子連育成者		

藤野町ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	藤野町教育委員会社会教育課	0426-87-5515	fujino-e@alto.ocn.ne.jp
活動エリア	町内(宿泊研修は町外もある)	活動拠点	-
自主活動	神馬山のつどいのリーダー、宿泊研修、bigsへの参加、ウォークラリー開催、活動報告会、機関誌作成		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施していない	-	-
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	メンバーの減少		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	町子ども会	内容
イベント(委託)	-		
協力事業	相手先	-	
	内 容	-	
	回 数	-	延人数 -
アピールポイント	青少年指導員の指導のもと、諸事業の立案、実践を通しリーダーとなるべく活動している。		
会発足のきっかけ	子ども会リーダーから、小学生で終わらたくないとの声を受け、10年間程度続いている。		
会員募集方法	町広報誌		
参加動機	-		
会員情報等	年齢層	13歳 ~ 18歳	中高生
	会員数	9人	実働人数 9人
			年会費 なし
			会則 なし
指導者	-		

健民少年団神奈川県連合

問い合わせ先	横浜市神奈川区松本町4-34-1 畑誠一方		045-321-7023	-	
活動エリア	神奈川県内全域		活動拠点	特になし	
自主活動	毎年夏に全国大会に参加する他、年末のクリスマス交歓会などを開催している。				
自主研修	内 容			講師（指導者）	
初心者向け	実施している	新人団員向けに1日の研修会で団員としての心構えなど。		先輩会員	
中上級者向け	実施している	中高生を対象にジュニアおよびシニアリーダーとしての役割		先輩会員	
活動上の課題	会員数の減少				
連携（協働事業）	連携（協働）相手	なし	内容	-	
イベント（委託）	なし				
協力事業	相手先	なし			
	内 容	-			
	回 数	-	延人数	-	
アピールポイント	心身共に健康な市民を育てる				
会発足のきっかけ	各都市ごとの団が連携するため				
会員募集方法	単位団体が付近の住民にチラシを配布				
参加動機	野外での活動がしたいから				
会員情報等	年齢層	6歳 ~ 80歳	小学生が多い	年会費	500円
	会員数	282人	実働人数 282人	会則	あり
指導者	成人会員				



活動の様子

青少年が主体的に活動している団体一覧表

地区	ページ	団体名	主体となる世代	問い合わせ先	自主研修		協力事業相手先
					初級	中上級	
横浜・川崎地区	67	鶴見区ジュニアリーダーズクラブ	中高生	クラブHP (P.67参照)			鶴見区子ども育成会連絡協議会・地区の子ども会
	68	西区子ども会育成連絡協議会 ジュニアリーダーズクラブ	中高生中心	区地域振興課 045-320-8392			西区の単位子ども会 / 地区センター
	69	保土ヶ谷区ジュニアリーダーズクラブ	中学生中心	地域振興課 045-334 - 6307			保土ヶ谷区内の単位子ども会及び区子ども会行事
	70	旭区ジュニア・リーダーズ・クラブ	社会人、中高生が多い	地域振興課 045-954-6095			旭区内の子ども会
	71	磯子区ジュニアリーダーズクラブ	中高生中心	地域振興課 045-750-2393			地域子ども会の手伝い
	72	港北区ジュニアリーダーズクラブ	中高生中心	地域振興課 045-540-2239		-	港北区内の子ども会等
	73	緑シニアリーダーズクラブ	中高生が多い	緑シニアリーダーズクラブ 045-932-3130			青少年の家のサポート、中学校自然教室指導員、市のイベントへの参加出店等
	74	あおばレクリエーション リーダー倶楽部	大学生が多い	地域振興課 045-978-2295	-	-	-
	75	栄区ジュニアリーダーズクラブ	高校生、大学生中心	地域振興課 045-894-8395	-	-	栄区各地区の単位子ども会および区子連
	76	泉区ジュニアリーダーズクラブ	高校生以上が多い	地域振興課 045-800-2395			子ども会や区役所などが小学生等を対象とした行事
	77	瀬谷区ジュニアリーダーズクラブ	中高生中心	地域振興課 045-367-5696			瀬谷区子供会育成連絡協議会、及び単位子ども会
	78	川崎市子ども会連盟 ジュニアリーダーズクラブ	中高生	川崎市子ども会連盟事務局 044-733-3951		-	川崎市内単位子ども会、市内こども文化センターなど
	79	川崎市子ども会連盟 シニアリーダーズクラブ むげん	大学生中心		-	-	市主催行事等
80	川崎市青少年の家 ユースワーカーズ倶楽部	中高生	川崎市 青少年の家 044-888-3588	-	-	青少年の家のサポート、中学校自然教室指導員、市のイベントへの参加出展等	
横須賀三浦地区	81	横須賀市ジュニアリーダー 養成講習会OB会	中高生中心	青少年課 046-822-8224		-	市内全域の子ども会や子どもにかかわる団体
	82	鎌倉市シニアリーダーズクラブ	中学生から社会人	青少年課 0467-23-3000		-	鎌倉市の地区行事(子ども会、地区の青少年育成団体等)
		逗子市子連 ジュニアリーダーズクラブ	中高生	逗子市 子連会長 046-873-2976		-	-
	83	みうら青年ボランティアビューロー	高校生中心	事務局長宅			三浦市の各地区の単位子ども会
84	葉山ジュニアリーダーズクラブ	中高生中心	生涯学習課 046-876-1111			町の青少年育成事業、子ども会派遣	
湘南地区	85	藤沢市コミュニティリーダー-高校生	高校生	(財)藤沢市 青少年協会 0466-25-5215	-	-	-
		藤沢市コミュニティリーダー-中学生	中学生		-	-	-
	86	平塚市ジュニア・リーダーズクラブ	中高生	青少年課 0463-32-7029		-	平塚市の各地区の単位子ども会
	87	ヒコーキ雲の会	-		-	-	-
	88	平塚市海洋少年隊	中高生		-	-	-
89	茅ヶ崎市ジュニア・リーダーズ・クラブ	中高生	青少年課 0467 - 82 - 1111		-	茅ヶ崎市の各地区の単位子ども会、青少年課、老人会等	

青少年が主体的に活動している団体一覧表

地区	ページ	団体名	主体となる世代	問い合わせ先	自主研修		協力事業相手先
					初級	中上級	
湘南地区	90	秦野リーダー研修クラブ	高校生中心	青少年課 0463-81-7011			子どもまつり、青少年交流 洋上体験研修事業、青少年 交流キャンプ、青少年会 館師走祭、子ども各種事 業、新成人のつどい実行
		YROH(International The Young Relation Of Hadano)	高校生以上 中心	同上	-	-	子どもまつり、青少年交流洋上体 験研修事業、青少年会館師走 祭、新成人のつどい実行委員会
	91	成瀬ジュニアリーダーズクラブ	中高生	青少年課 0463-94-7171		-	伊勢原市成瀬地区の単位子ども会
	92	伊勢原ジュニアリーダーズクラブ	中高生				市内の単位子ども会、市内外の 団体・施設、青少年課、市子連等
	93	寒川町ジュニアリーダーズクラブ	高校生	生涯学習課 0467-74-1111			-
	94	大磯町ジュニアリーダーズクラブ	中高生中心	生涯学習課 0463-61-4100	-	-	子ども会(小学校4,5,6年 生)
二宮町シニアリーダーズクラブ		高校生中心	生涯学習課 0463-72-6912		-	町子ども会野外活動、町内 単位子ども会活動手伝い、 町恵友会各種研修、町教 育委員会事業手伝い、町 ゴミ拾いキャンペーン	
県央地区	95	厚木市ジュニアリーダーズクラブ	中高生	青少年課 046-225-2580			厚木市、秋田県横手市の 子ども会
	96	大和市ジュニアリーダー研修会	中高生中心	大和市 青少年センター 046-260-5224	-	-	-
	97	大和ユースクラブ・わくわく冒険隊	ユースクラブ は中高生、 わくわく冒険 隊は小学生		-	-	大和市内各種団体の事業 等の支援・大和市事業(成 人式)の支援
	98	海老名市ジュニアリーダーズクラブ	中高生中心	青少年課 046-231-9787		-	海老名市の各地区単位子 ども会
	99	座間市ジュニアリーダーズクラブ	中高生中心	青少年課 046-253-8415			座間市の単位子ども会
	100	ジュニアリーダーズクラブオブあやせ	中高生・社 会人が多い	青少年課 0467-70-5655		-	綾瀬市の各地区の単位子 ども会、青少年課、老人会等
	101	愛川ジュニアリーダーズクラブ	中高生	生涯学習課 046-285-1111		-	依頼があれば自分の地区 の催し物の手伝いに
西湘地区	102	小田原市ジュニアリーダーズクラブ	中高生	市青少年課 0465-33-1736			地域の子ども会、市等主催 のフェスティバル
	103	小田原市シニアリーダーズクラブ	大学生・社 会人中心			-	イベントの募集対象として 主に市内の子ども
	104	湯河原町ジュニアリーダーズクラブ	中高生	町社会教育課 0465-63-2111			湯河原町子ども会・地区子 ども会
足柄上地区	105	大井町ジュニアリーダーズクラブ	中学生中心	町生涯学習課 0465-85-5016		-	-
	106	山北ジュニアリーダーズクラブ	中学生	山子連 0465-75-3503	-	-	山北町子ども会育成会連 絡協議会行事への参加
津久井地区	106	藤野町ジュニアリーダーズクラブ	中高生	町社会教育課 0426-87-5515	-	-	-
民間団体	107	健民少年団神奈川県連合	小学生 が多い	畑誠一 方 045-321-7023			-
	52	青山子ども会	大学生	代表	-	-	-
	54	東京農業大学自然教育研究会 ネイチャーズクラブ	大学生	会長			-
	56	さがみちびっこクラブ	大学生、専 門学校生、 社会人	会長		-	相原地区各子ども会

